

堀米四郎兵衛家文書

(河北町立中央図書館蔵)

一 金銀差引目録

(封書上書)

九月八日

市村屋
弥三郎

羽州谷地
堀米四郎兵衛様
仕入要用 自京

金銀差引目録

五月卅日
一、金四拾四兩貳歩貳朱

紅花仕切表

六匁五分六厘

貳朱判

内渡シ方

九月四日
一、金五拾兩也

下し金

歩判

一、金四兩貳歩也

右九ヶ月分利足

一、銀拾貳匁四分

御手板不足かし

一、銀四匁五分

貳朱判

歩判

打

メ金五拾四兩貳歩ト

銀拾七匁也

差引

金九兩三歩貳朱ト

銀拾匁三分四厘

此金貳朱ト

貳匁九分四厘

合金拾兩ト

貳匁九分四厘

不足かし ㊦

右之通御座候、御引合御覽被遊可被下候、以上

市村屋

弥三郎 ㊦

文化元年

子五月卅日

堀米四郎兵衛様

式分式朱

差引二入

式朱判

六匁五分六厘

二 紅花仕切

仕切

五月卅日

一、金四拾六兩

金三拾兩かへ

利大仕印紅花

壹分式朱也

十六入 五丸と

拾三貫

六百目也

老駄式拾九袋

六分也

金拾壹兩かへ

同チリ花五袋

一、金三分

六匁五分六厘

一、金四拾四兩

右之通壳拂代金不残相渡、此表無出入相濟申候、
万一算用違或ハ拔貫違花等有之候ハ、御互ニ重而
御差引可被下候、為後日仍而如件

市村屋弥三郎 印

文化元年甲子五月卅日

堀米四郎兵衛殿

三 塗物荷物請取覚

覚

一、塗物荷物

品々入五箇

此金拾兩貳分ト

錢拾貳メ五百文カヘ

内金四兩也 為手附金相渡シ

殘金六兩貳分ト

錢拾貳メ五百文

右者此度貴殿方ニ塗物荷物買請、為手附金書面之通り相渡シ、右荷物不殘請取申処実正ニ御座候、尤殘金六兩貳分ト錢十貳メ五百文、當暮迄ニ不殘御勘定相立可申上候、万一勘定方延引ニ相成候ハ、加判之私シ引受弁金を以少茂無差支相濟可申候、為念一札如件

酒田荷物買主

文化十四年

後藤傳七 爪印

九月廿二日

加判

押判屋周治

直筆印形

堀米四郎兵衛殿

四 萬手控帳 (横帳)

(表紙)

文化十二年

萬手控帳

亥四月吉日

酒田

後藤伝七 殿

〃 押判屋周次殿

買主 請人

西九月廿二日

一、金拾兩貳分ト

錢拾貳メ五百文

塗物六箇

内

金貳分也 四郎北利助買物代 受取

金三兩也 其後傳七殿を直受取

金三兩貳分 受取

是江四兩之請取ニ注文表仕置

残而七兩ト 全不足かし

拾貳メ五百文

西十一月廿八日

外ニ 金貳兩壹メ六百文 黒椀四十人分

是ハ押判屋周次殿上ケ利左エ門持

不足

金拾壹兩ト五百文 全クかし

酒田

伝七殿分

今印 分

一、拾貳メ文

成四月廿二日迄
同五月十八日迄ニ
廿四分

但シ右日數之内壹晩行不申候

同四月小ノ月也、メ二日引残り左ニ

猶又入湯行之節、伝七殿

周次殿兩人立会夜美ニ而

五百文ニ相定入湯仕候

一、金壹分也

浴衣壹つ

但しほり

手拭壹つ

手さし壹つ

金壹分ト

拾貳メ文

外ニ

花紙代勝手次第

成九月廿八日立合改 大久保
一、金貳拾壹兩三分 利左衛門

八百五文

酒田勘定残りかし

新庄

吉左衛門殿分

一、金四両ト四匁 酉十二月改

内式両卷分 酉十二月廿一日

与吉受取

注文相返ス帰ル

残而金卷両三分ト四匁 不足

一、金貳両卷分貳朱ト 尾花沢 清兵衛殿

四百三拾四文

土屋忠兵衛様方

成九月廿三日改不足
一、金卷両三分ト 永拾四匁八分三厘

成九月廿三日

一、金卷両ト 永八匁三分三厘 (五メ貳百匁 四八かへ)

同日 一、金三分ト 永五匁七分五厘 (四メ貳百匁 五式かへ)

同日 一、金貳分也 (さらし式メ匁 兩二四かへ)

成十月三日 一、金卷両ト 永四匁貳分五厘 (四メ九百匁 四七かへ)

同日 一、金卷両ト 永九匁 (五メ四百五拾匁 五かへ)

成十月十七日 一、金三分ト 永拾貳匁 (四メ三百五拾匁 五かへ)

同日 一、金三分ト 永拾八匁 (四メ六百五拾匁 五かへ)

メ金八両ト

永貳拾貳匁分八厘

浅吉仕入分

押判屋立替

一、いか拾三連ん

成九月廿二日着

代

十連ん三十五文かへ
三連ん三十八文かへ

一、数のこ式舂

同断

代

壹升

九十文かへ

一、からかい四懸ケ

同断

代

壹懸ケ九十文かへ

一、蠟燭台拾丁

同断

代

百文かへ

メ

酒田と賃銭内拂濟

外二諸懸り

一、金三分ト

三百七拾五文

右口せん
目早拂

一、三百四拾文

儀
小口蕤共

メテ

一、四百文

荷蕤拾枚

一、四百八拾五文

なわ

一、五百文

荷造り賃

メ金三歩ト式メ百文

此永三拾匁也

合而金百拾三両式分ト 永百匁也

此上り

但シ壹駄ニ付

金四拾式両式分式朱

丁銀七匁三分九厘

② 籠
飛 拾七入 五丸

此駄壹駄三分式厘八壹式五

② 雨
揃 拾七入 拾丸

此駄式駄六分五厘六式五

代金百拾式両式分也

代金五拾五兩三分ト

永三匁壹分貳厘五

外ニ諸懸リ

一、金壹分貳朱

百五拾四文

兩ニ五十文懸リ
右口せん
目早拂

一、百七拾文

俵
小口薙共
ノテ

一、貳百文

荷蓮五枚

一、貳百五拾文

なわ

一、貳百五拾文

荷造ちん

ノ金壹分貳朱

老メ三拾四文

此永十四匁七分七厘

合テ

金五拾六兩壹分ト

永五匁三分九厘五毛

此上リ壹駄ニ付

金四拾貳兩壹分貳朱ト

丁銀壹匁壹分壹厘

代金ノ金百六拾九兩三分

永拾匁三分九厘五

外ニ

金三兩貳分

送り添金

貳メ八百文

大石田迄
駄ちん

四百五拾文

右 荷送りちん

小遣い共ニ

惣

ノ金百七拾三兩三分

四百五拾七文

成六月十一日

内金五拾兩也

永田治右衛門殿

請取

ノ七月五日

又金五拾兩也

押判屋周治殿より

受取

押判屋四郎平殿

為替荷物

引残而金七拾三両三分

四百五拾七文

外二

金壹分 添金書間違

ノ金七拾四兩卜

四百五拾七文

内

金七拾三両三分卜

四百五拾七文

戌八月四日榎藤左衛門殿より請取

残而金壹分也 不足

かし

司 沢
兩 拾六入 四丸

代金三拾七兩貳分也

一、外二諸懸り 金壹歩 両二五十五文懸り

百貳拾五文

一、百四拾文

俵 小口延 ノテ

一、百六拾文

荷筵四枚

一、貳百文

なわ

一、貳百文

荷造ちん

ノ金壹分卜

八百廿五文

合而

金三拾七兩三歩卜

八百廿五文

外二

八百文 大石田迄

駄ちん

百五拾文 荷造ちん

拾五文 小遣共二

〆金三拾八両也

外ニ金壹両也 送り添金

御出判壹通

惣〆金三拾九両也

内金六両也 戌春酒田江
下り節請取

引残而金三拾三両也 かし

外ニ金壹両貳分 海上請合金

永拾五匁

金壹兩ト

永廿三匁七分五厘

七月より九月迄
〆三ヶ月利

惣〆金三拾五兩三分貳朱

永壹匁貳分五厘 全クかし

大石田

寺崎作右衛門

右手板貳通ニ而 押判屋四郎平

七月十日出し 丸屋 半助

仲村佐右衛門

白銀 陸助

大坂

近江屋安治郎殿 行

覚

一、四月十五日晩 大石田泊り

一、同 十六十七十八 舟二泊り

一、同 十九より廿四日迄〆六晩

袋小路仁兵衛泊り

一、四月廿五日より六月十五日迄

メ五拾日 伝七泊リ

処江五メ文 亭主江渡し

三百文 かゝ殿ニ渡し

貳百文 娘ニ渡し

此訳

来子年卯年四ヶ年賦

但壹ヶ年金五両 永貳拾壹匁七分宛

右者此度年濟御願申入候処御承知被下忝奉存候、然上者定通年々急度返済可致候、若当人如何様之義有之候共、加判引受返済可致候、為後証加判を以仍而如件

文化十二年亥年六月

加判

押判屋四郎平印

最上沢畑村

堀米四郎兵衛殿

山田与右衛門印

五 (紅花代金貸付に付) 一札之事

一札之事

一、金三拾五兩三步貳朱

紅花貸附表

永壹目貳分五厘

内 金五兩

此度相渡申候

金拾兩

鯨七樽代金

永壹匁九分三厘 但壹兩ニ付拾ニメ目替

小以メ金拾五兩永壹目九分三厘

引残テ金貳拾兩三步 永拾壹匁八分貳厘

六 (紅花代金滯出入に付) 願上書

(端裏書)

「紅花荷物被銜取候出入」

乍恐以書付奉願上候

池田仙九郎御代官所

羽州村山郡谷地松橋村

訴訟人

四郎兵衛

一、紅花代金滯候出入

酒井佐右衛門尉様御領

同州酒田三ノ丁

相手 押判屋四郎平

同加判 山田与右衛門

右訴訟人四郎兵衛乍恐奉申上候趣意者、去ル文化十一年
戌六月中、相手四郎平儀最上紅花考駄上方為登仕度由二
而、同人当地江罷越紅花荷為替取組之儀私方江達々頼入
候二付、私し目利仕紅花買入、四郎平与差金六兩請取立
合改諸掛都合取調、殘金三拾五兩三分式朱ト永壹匁式分
五厘私之方与差金致為替取組候二付、諸勘定書直ニ相渡
送手板荷符板共私シ名前ニ仕、大坂近江屋安治郎方江差
向遣シ候、尤大坂着之上紅花相拂、仕切之節者前書殘金

為替出候分者、大坂表与直々私し方江差下し仕切過金之
儀者、則押判屋四郎平方江仕切勘定書一同相渡可申様对
談取極メ、荷印司^{雨沢}紅花拾六袋入四箇附考駄為差登申候
処、右紅花荷物着舟届茂延引仕候而、急速文通ヲ以大坂
表相糺候処、右紅花之儀者酒田押判屋四郎平与阿州宮嶋
萬屋治兵衛方江又為替取組候哉ニ而、則送り手板荷符板
共萬屋治兵衛名前ニ而着荷仕候二付、右紅花代仕切金者
不殘同人江相渡候趣返翰^書至來仕候
依之酒田湊ニ罷下り四郎平方江掛合相糺候処、同人方二
而送り手板荷符板共ニ引取、萬屋治兵衛方江売渡シ申候
始末、依之同人相糺候処買請候義聊相違無之趣、左候得
ハ全謀計之致方甚以不屈ニ奉存、其節出訴をも可仕之処、
御上様ニ御苦勞奉懸候義恐入、猶又其節酒田堀端伝七並
ニ最上谷地藤助兩人立入彼是申詫、為替金之内当金拾五
兩相渡シ、殘金式拾兩三分式朱ト永壹匁式分五厘之処、
去ル子与当卯迄四ヶ年賦考ヶ年ニ金五兩ト永何かし宛相
濟元金濟ニ致具候様、四郎平者勿論立入人一同再応相頼
申候二付、聊相違も有之間敷相心得格別之致勘弁、任其

意当金並二年濟證文受取帰村仕候、然ル処去ル子春約速
通之返金差滞候間、私召遣之者催促ニ差遣候処、其節加
判与右衛門立入金孝而相渡し、殘金之儀ハ暮迄貸延呉候
様相頼、其後一円相濟不申候ニ付、丑四月又々催促差遣
候処、無益之永逗留為致一向相濟不申、其上不取締成申
訳而已ニ而迷惑至極仕候、右一件之儀ハ元来四郎平方ニ
而筋違横道之致方、其上愚身之私しと見掠手濟金茂押領
可仕工ミと奉存候

此段等閑ニ差置候而者、外之諸差引ニも相拘り甚以歎ケ
敷奉存候間、無據不奉願恐をも今般御訴訟奉申上候

右之越被為聞召訊相手名前之もの御召出御糺明之上、殘
金拾九兩三分ト永拾老匆八分式厘不殘濟方被抑付被下置
度御慈悲奉願上候、猶御尋之儀者乍恐口上ヲ以可奉申上
候、以上

松橋村

訴訟人

四郎兵衛 ㊦

(文政二年)
卯閏四月

名主十郎左衛門酒田出役ニ付

組頭
藤吉 ㊦

寒河江

御役所

酒田湊御出役

河野儀重郎様

七一 書簡 (渡金の催促)

一筆啓上仕候、春寒難退御座候時分、その表御家内様御
揃弥御勇健可被遊御座、珍重之御儀奉存候、随而当方無
異儀相暮乍憚御休意思召被成候、然者当地柴崎屋宗右エ
門殿を渡金式拾兩也、極月晦日渡りニ御座候故、精々懸
合申候処、何角不都合之様子ニ而相渡り不申、乍去呉々
御頼置御下候儀ニ御座候故、日二兩三度斗ツ、催促仕候
得共、何分不廻り之儀申立相渡し呉不申、何とも貴家様

へ申分無之心配仕故、どふか此頃ニ而者分発も被致之様
子ニ御座候、扱々困入申候事ニ御座候、下店方も精々懸
合可申候得共、右之振合ニ御座候故、一応此儀奉申上候、
何卒御国方も殿敷御懸合可然与奉存候、先者右之段申
上度如此御座候、尚期重便之時候、恐惶謹言

綿屋勇藏 ㊦

(文政五年)
二月二日

万三

庄七

堀米四郎兵衛様

大葉三吉様

貴下

二相成候而金子相渡不申、仍而其儘ニ而御出立ニ御座候、
委細之儀御同人様御承知ニ御座候間、否哉早速御状御出
し被下度奉頼候、以上

六月十五日

錦屋勇藏

堀米四郎兵衛様

七―三 覚 (取扱金預りに付)

覚

一、金四両也

右者堀米四郎兵衛殿へ之御金廿兩之取扱金髓ニ預り申候、
追而右同人不承知ニ候て、返却可仕候、以上

錦屋勇藏

七―二 書簡 (追伸)

追啓奉申上候、本文相認メ候得とも源右衛門様御出立掛

貴下との

八 書簡（入舟案内他）

〔封書上書〕

〔羽州最上谷地沢畑

堀米四郎兵衛様 從源助

方京都

入舟御案内

〔封書裏書〕

嶋屋便を以一筆啓上仕候、追々暖氣ニ相成候処、其貴地御全家様益御勇健ニ可被遊御座大慶之到ニ奉存候、当方無異儀罷有候、乍憚御安慮可被成下候、然者其御地も正月二日出御祝金追啓も順着忝拜見仕候、去穂中も追々御上京被遊候御支配人様方御道中御無難ニ而、追々御帰国被遊候趣被仰下度悦不過之奉存候、乍併毎々取紛罷有候而、仍之御会釈も不申候処、此度御時宜しニ御挨拶被仰下何とも痛入赤面仕候、乍憚御一統様へ宜御断被仰上被下度奉頼上候

一、去穂中御出荷御案内被仰下候御印紅華、道囲ニ相成

候御荷物、此度敦賀表方入舟仕候趣キ申来候処、則左ニ

丸 飛切 五丸

丸屋半助殿方迄

右之通海上無難ニ入津仕候条御目前着岸仕候、尤近々上着之節相改蔵入可仕候、且亦売方之儀者、無如才相働出情可仕候得ども、兼而御支配才三郎様御指図二者、五拾兩以上ニ相働売附可仕候様、若また五拾兩餘ニ相揃不申候ハ、売方差控置可申候様被仰置候、然ル処当時之氣配ニ而者何共五拾兩之儀無覚束奉存候、何分近々上着仕候ハ、売場相働キ出情可仕候、甚直段行違ニ御座候之儀も御座候ハ、早々被仰遣被下度奉希候

一、爰許紅華之儀、旧臘押詰り嶋屋持も廻り奥仙紅華、追々上り込ミ存之外越年残荷も余計ニ御座候処、何分早春以来ハ紅流もの大不揃ニテ別而迷惑てりふんにも高直ニも御座候故、一円引合ニ相成不申候趣ニ而、紅華潰れ方至而無数ニ御座候故、今ニ希事相始り不申覚ニ仕候、仍之自然与氣配も不宜、殊ニ壹軒沽却ニ付弥氣配不宜、

既ニ当節前之処旧冬相場と五七両も下直ニ候ハ、少々
買人も可有之体ニ御座候得ども、是迄者いまだ売人も無
之候得共、節後今ニ至り買人も無之、猶亦此度匱上りも
相応ニ荷数有之、且また春出し御荷物追々御案内申来候
得者、此後之処如何可參候哉難計、何分奥仙花・最上華
而已多分ニ御座候得者、甚心配罷有候、何卒都合よく売
方出来候様偏ニ奉願上候

一、拙家仕入紅華御注文申上候様被仰下、毎々御厚情之
御義千万忝仕合ニ奉存候、乍併私方ハ格別之仕入も不仕
漸々老駄式駄程誠々迄ニ頼遣候事も御座候得共、殊ニ聊
之事ニ御座候、別而今年ハ前文之仕合ニ御座候得者、当
時聊も望無御座候間御断申上候、若また此後宜景氣も出
候ハ、御頼申上候事も難計其節ハ宜被頼可申上候、又
者右御報旁不取敢入舟之趣申上度如此ニ御座候、尚期後
便之時候、恐惶謹言

(文政五年)
六月十二日

伊勢屋源助 ㊦

源八

堀米四郎兵衛様

貴下

金七
貞七

九 書簡(渡金滞に付)

(封書上書)

一、羽州最上沢畑

(封書裏書)

一、三月廿二日出

堀米四郎兵衛様参る

錦屋勇蔵

急要用

二月十一日出し貴札相達し忝拝見仕、先以暖和之砌御座
候処、其御表御家内様御揃、弥御勇健可被遊御座珍重之
御儀奉存候、随当方無異儀罷有候、乍惶御休意思召被下
候

一、二月二日出を以柴宗殿渡り金之儀、委細奉申上候処、定而御披見可被下与忝奉存候、其後日々駈合仕候得共、頓与埒明不申何共込^⑧り入申候、乍去此頃漸々諸道具共売拂被申候処、式ツ半カ三分通位ニ相成不申候、外之懸合衆中も此頃組合衆中ニ御座候、扱々込^⑧り入申候事ニ御座候

右之次第ニ御座候故、尊家様分如何取計ひ可申哉、外算ニも御承知被遊候哉、何卒急々御報被下度奉願上候、扱々不怪事出来何共御氣之毒仕候、先かし右様奉申上候得とも、分発之処最卒度宜敷可相成哉、無女才引合申故候、右之賃金も定宜鋪御承引被遊可申候、先々右之段申上度、尚期重便之時候、恐惶謹言

(文政五年)
三月廿二日

錦屋勇藏

万藏

庄七

堀米四郎兵衛様

貴下

一〇 書簡(紅花仕切殘金)

(封書上書)
「最上沢畑

(封書裏書)
「三月廿九日

堀米四郎兵衛様 從京都 柴崎屋宗右衛門

要用

「毛吉田

(端裏書)
「堀米様」

一筆啓上仕候、先以春暖御座候之義、其御地御家内様御揃愈御壯健被遊御座珍重奉賀候、誠ニ其後者久々書状ヲ以申上候儀も無筆大ニ御無沙汰、背本意ニ春迄病氣ニ而兔角氣分不勝御用捨被遊可被下候

秋中御仕切仕候紅花殘金貳拾両、綿屋勇藏殿へ御差函通御渡可申上候、紅屋ニて懸方敷口間違当惑罷有候、全体拙店近来損毛打続、甚手元不操合方差当才覚融通も可致様手段無御座必死と難渋仕候、依之外御懸り合え御座候

御方様へも御願申上候而取調仕候処、能々差詰申候儀故、諸道具不残売拂多少御用捨ニ預リ度近来申上承候へとも、右之仕合ニ御座候間、暫時御猶餘被成下度、取調候而より跡御歎キ可申上候間、何分宜敷御聞濟被成下候様奉存上候、何卒御一統様御聞濟被遊被下候ハ、割合ヲ以御納金被成下候様偏ニ奉願上候、委細跡便り万々可申上候、右ニテ早速可申上処、不快故及延引ニ候条、真平御用捨被遊可被下候、恐慌謹言

(文政五年)

三月廿九日

柴崎屋宗右衛門

堀米四郎兵衛様

大場 三 吉様

貴下

一 書簡 (荷物積送他)

(封書上書)

羽州谷地川端

(封書裏書)

四月四日

堀米四郎兵衛様従大坂

近江屋

安治郎

用要書

(端裏書)

「や サマ」

一筆啓上仕候、追日薄暑ニ御ざ候所、先以御家内様御揃益御壮健ニ可被遊候由奉珍重候、隨而当方無異罷在候、乍憚御安意思召可被下候、然而從爰許三月八日出候以御買物、不残つみ入並ニ仕切書等御案内申上候得者、定而相達も御披見可被下候、其節差引等あらく之所御案内申上候、御承知可被下候、且又二月十二日出しヲ以、旧

臘中御預ケ申上候古手代御見合ニ付御返濟可申上候様被

仰下、則東根早坂徳兵衛殿向為替取組手形御下し申上候、

定而御引合御請取被下度奉存候、御請取被下候、御勝手

御沙汰可被下奉頼上候

一、当春ツミ入申上候品々此節近く酒田入津可仕哉ニ奉
存候、何卒御利分相成可申様奉頼上候、御引合ニも相成

由にて、早々御注文可被下候様奉頼上候

一、此度奥山新三郎様も書状仕候ニ付、尚両問屋御達し
被下度奉頼上候

一、紅花栢庭之儀先状申上候後、追々不振にて望人無数、
此節にてハ旧冬方四五両かた引後申候、御勤弁被下候へ

ハいつれ新花買出ニ随ひ高下可仕候、何卒当年新花御差

向被下候様奉頼上候、且又くり綿高直ニ御座候、則左之

通

大坂上訳 四メ六百匁

④ 四メ九百匁

⑤ 五メ式百匁

右之通御座候、御勤考可被下候、まつハ右之段早々案内

申上度如斯御座候、恐惶謹言

近江屋安次郎 印

(文政五年)
四月四日

堀米四郎兵衛様

御店中 様

伊八

一一 書簡(紅花景況・相場他)

(封書上書)
「最上沢畑

堀米四郎兵衛様

と京都 榎岡へ向

要用

(封書裏書)
「四月十七日 柴崎宗右衛門

」

(端裏書)
「堀米様」

嶋屋屋便ヲ以一筆啓上仕候、薄暑ニ御座候処、其御地御

揃弥御壯健被遊御座珍重奉賀候、然者先状奉申上候私義
 身上近年打続損毛御座候上懸方間違必死ニ差詰候処、格
 別之仰山之金高ニも無御座候間、何卒相続仕度は迄融通
 致被具候先々江頼込候処、仲ヶ間内ニ同様沽却不致候仁
 御座候故欤、約束仕候先も無化ニ被断融通才覚出来不申、
 差当難渋仕候間諸色壳拂分散利濟之儀、御一統様へ御敷
 申上候処、格別御了簡被成下御聞濟ミ被成下、御地御在
 京御藤主様当地仲ヶ間、荒々片付申候、甚以御無体ニ御
 座候得共、御一統様御聞濟被下候割ヲ以御了簡被成下候
 様、偏ニ奉願上候、

割合左之通

当時御附金

式步通差入

拾ヶ年賦

残四步通

出世一札

残四步通

右之通ニ御座候、何卒甚御無体之儀ニ御座候得共、御得
 心被成下候様偏ニ奉願上候、尚又榑岡吉内氏へ取扱之儀
 頼遣候間、同人罷登り委細御願可申上宜敷御承知被遊可
 申候、此後商内取続仕候ハ、昼夜無油断出情御高恩之

程亡却不仕、夫々御損毛無之様、皆納仕度心願仕候、偏
 ニ御憐愍之思召御聞濟被成下度奉希上候

一、当地紅花之儀外々より可被申上御承知可申候、昨年
 已来前代未聞安直出来候儀者、元来不景氣ニ而不捌之処
 へ荷数多分とり込申候故、当春に開春とり入込申候而、
 当時残荷も六百駄余ニ相聞申候、尤早場過に時附不多候
 而春寒少々痛出来候所、先頃より雨勝大ニ見事ニ生立候
 段申来候、則當時相庭左之通相聞申候

最上 上々 三拾兩位
 悪もの 拾貳三兩位

南仙 同断 三拾七八兩

奥仙 同断 廿八九兩

早場 同断 廿六七兩五

水戸 同断 拾八九兩位
 三拾兩前後 四拾兩前後
 四拾二兩 三拾貳三兩位

右之通ニ相聞申候、御考勘御掛引可被遊候、何れ残荷も
 餘慶旁当新花餘程下直ニ而御座候而者、御引合も六ヶ數
 奉存候、先者右佗御敷之段奉申上度如此ニ御座候、恐惶
 謹言

柴崎宗右衛門

印

〔印〕
〔文政五年〕
四月十七日

堀米四郎兵衛様

御店家中

一三一 書簡〔為替手形差下し〕

〔封書上書〕

〔羽州最上谷地沢畑〕

〔封書裏書〕

〔卯月十日夜〕

堀米四郎兵衛様取扱

近江屋

安治郎

為替手形入急用

〔端裏書〕
〔やサマ〕

一筆啓上仕候、向暖ニ御座候得共、先以其地御家内様御
揃益御壯健可被遊御座候、珍重不斜奉存候、随而下店無

異儀罷有申候、乍憚御安意被下候、然ハ此店方過ル四日
出ヲ以諸用申上候得者、追而相達し御扱可被成下与忝奉
存候

一、尚此度東根早坂氏方来状仕候処、二月十二日出ニ取
組手形差下申候、金子とふか不渡之趣キ申参り、扱々御
氣毒奉存候、尚又右為替取組申候書状右延着之趣、此度
山形山村屋方申参り、尚又貴家様へ相届申候処、右延引
ニ付賃錢も相渡り不申候段申参り、扱々右延引儀ニ驚き
入申候、早速飛脚方吟味申遣候間、何方ニ而相滞申候と
申儀相分不申候間、はせ川又々御申請仕候、扱右為替不
渡りニ付、定而貴家様ニも御案内可被仰下与被存候所、
未夕御左右も不申出候、仍て此度又々山形表ニ受取金御
座候間、為替取組則左之通

金五拾兩也

山かた

高田忠蔵殿候渡り

但し五月晦日限

右之通取組手形差下し候条、限日御受取可被下候、扱々
先達而之為替間違大ニ御氣毒仕候、尚此度之分ハ無相違

相渡申候間、左様被思召被下候

一、貴地紅花草生追々成長可仕与奉存候、何卒尚此後無難取入相成候様奉希上候、猶当新花御荷物も多分御差向被下候様奉希上候、格別出情御仕切可申上候

一、くつ綿之儀其後さして相変不申候、尤五四時坂上屋四メ六百文迄(德)四メ五百文崩ニ御座候、御勘考御願可被下候、まづは右申上度為替請状迄ニ御座候、早々如斯御座候、恐惶謹言

(文政五年)
卯月廿四日

近江屋安次郎 印

源兵衛

猪八

堀米四郎兵衛様

御店中様

一三一二 書簡 (仕切書)

一御多用の中恐入奉存候得とも、仕切書老通西屋幸六様迄、無御失念早速御出走被下候様偏ニ奉希上候、くれぐれも

早々御達可被下候、尚御願上度御座候

(文政五年)
卯月廿四日

近江屋

安次郎

堀米四郎兵衛様

一四 繰綿運賃

運賃

五六酒田運ちん

一、八拾四匁

き 繰綿

拾五本

貳口

右水揚運ちん

一、三匁

八拾七匁

此金壹両一步卜

七匁

六四

右之通御座候、御引合被下候

近江屋安次郎

印

(文政六年)
未五月十四日

堀米四郎兵衛様

奥山才三郎様

運賃付

甲

一、五匁六分

鹿杉子壹箇

酒田運賃

一、五匁六分

京口物代

右同断

一、四分

水上たちん
貳箇分

銀拾壹匁七分

此金貳朱卜

三匁六分

六四

右之通御座候、御引合被下候

近江屋安次郎

印

五月十四日

堀米四郎兵衛様

奥山才三郎様

一五一 書簡（紅花景況・相場）

〔封書上書〕

〔羽州最上谷地沢畑 方大坂〕

〔封書裏書〕
〔近江屋〕

堀米四郎兵衛様

「 安治郎」

〔端裏書〕
〔やさま〕

一筆啓上仕候、甚暑之節二御座候得共、先以御家内様御
揃益御安康可被遊御座珍重之御儀ニ奉存候、随而下店無
異罷有候、御休意可被下候、然らハ此元方差便御出荷御
頼申上候得とも、定而相逢候ハ、披見可被成下与奉存候
一、其御地紅花之義、此節追々咲出し可申与奉存候、何
卒潤雨上出来仕候様奉祈上候、尚又不相變御差荷沢山ニ
被仰付可被下候、出精早速御仕切可申上候、且又当地之
義ハ近国西国すじ惣（原）てり花ニ相成候得共、水早庭未夕（相）
肖々迄相分り不申、勿論最仙様子窺ひ居候而、未夕紅屋

手出し不仕、双方対陣のミ奉存候、此後最仙吉凶相分り
申候ハ、入乱花、西国ク合戦相始り可申与奉存候、ま事（原）
二今年ハ源平共甚懸引六ヶ敷年柄ト奉存候、よろしく御
懸引可被成下候

一、麦粉之義てり込ミ強御座候而、日痛之所も多く出来
仕候、何卒一潤ひ奉祈上候、且又別紙相庭出入御覽申候
間、御引合之品何成共御差向可被下候、相働早々御仕切
可申上候、先ハ右御出荷御頼暑中御見舞奉申候、如斯御
座候、恐々謹言

近江屋

〔文政六年〕

六月十四日

安次郎

㊦

源兵衛

伊八

堀米四郎兵衛様

貴下

一五―二 書簡(追俣・紅花出荷他)

(端裏書)
「や サマ」

別啓上仕候、本紙を以紅花御出荷之儀御頼申上候、定而相達し御披見可被成候与忝く存候

一、四月廿四日出し右金五拾兩、山形高田忠蔵殿へ為替取組申候、定而相達し御披見可被下候、山形山村は五月廿二日出賣家様之状一兩日中ニ幸便ニ相達し可下候由、若哉幸便無之節者手形入ニ付、態飛脚にて相送り可申由申參候ニ付、先にお悦仕候、則高田氏儀五月晦日ニ無相違相渡可申候段御請狀参り申候間、此段御安心可被下候、尤差引書五月十四日出ヲ以差下し申候、是亦御入手御引合被下候哉被存候、若間違等も有之候ハ、早々被仰付可被下候、其節運賃書付忘仕候ニ付、此度入封いたし申上候、御入手可被下候

一、当春中御らん入申上候くり綿等、定而能々此節御売方被成候与御同悦ニ奉存候、山形も安綿不足よし引入御高値ニ相聞得、大悦ニ奉存候、当地綿作合御痛にて高直ニ御座候由、未夕御持合被成候て、矢張御引合可被成候、乍併御利運ニ御座候、一先御売可被成跡御註文可被成候、当年ハ古手御下し不申上尚大義也、残念ニ御座候、何卒当冬方古手御取組被成下候様奉頼上候、まづは右之段早々如此御座候、恐惶謹言

(文政六年)
六月十四日

近江屋

安次郎

印

源兵衛

伊 八

堀米四郎兵衛様

貴下

一五十三 相場書

相庭

- 一、筑前米 五十八匁式分
- 一、肥後米 六十匁式分
- 一、中国米 五十八匁式分
- 一、加賀米 五十五匁三分
- 一、岡大豆 五十七匁五分
- 一、水あふら 式百四十一匁
- 一、種白絞 式百六十一匁
- 一、荏油 三百廿匁
- 一、繰綿汲上

庄キ

- 一、丹州金
- 一、庄内米斗 五十式三匁
- 一、最上大豆 四十七匁
- 一、同 小豆 四十七匁

一、同 荏草 六十老匁

一、同 菜種 五十七八匁

一、薩摩塩□□斤 六メ八百匁

一、長州同 藏五メ四百匁
ワキ六メ匁

一、嶋原同 六匁式百匁

一、地口同斤 二白老匁三分
一白老匁三分

一、出嶋白砂糖 九匁六七分

一、太白同 七八匁ろ
十八九匁

一、御物黒同斤 九匁式分ろ

一、大しま同 十四匁二三分
九匁五分ろ

一、本大ワウ 十四匁三四分
廿五匁

一、金 六十四匁四五分
九匁三分ぜに

六月左三

近江屋安次郎

一五十四 相場書

(前切)

- 一、沢 瀉 壹匁三四分
 - 一、真榭摩 三分五厘
 - 一、青木香 壹匁七分
 - 一、節人參 壹匁貳分
 - 一、真口苓 貳匁七分
 - 一、粒半夏 壹匁七分
 - 一、真防風 九分五厘
 - 一、白焙硝 三匁七分
 - 一、同上々 四匁三分
- ノ 貳百五拾目斤二付
- 一、真細辛 壹匁七分
 - 一、大黃連 貳拾貳三匁
 - 一、細黃連 十七八匁
 - 一、まわた 貳拾四五匁

ノ 貳百目斤二付

- 一、小人參 拾五六匁七十七八匁
 - 一、仙台川芎 貳匁四五分
 - 一、実蓮肉 六分五厘
 - 一、湯乃花 四分五厘
- ノ 百八拾目斤二付
- 一、もぐさ 五六匁七十三四匁
 - 一、ぜんまひ 貳拾四五匁七三拾貳三匁
 - 一、紫 根 壹拾壹匁
 - 一、いわう 壹匁貳分
- ノ 壹百目斤二付
- 一、秋田鉛 貳百七八拾匁
 - 一、津軽同 貳百五拾八匁
 - 一、仙台同 同断
- ノ 唐目百斤二付

(以下切)

一六 万指引帳 (横帳)

(表紙) 文政五年

万指引帳

午六月吉日

午紅花送手板

六月二十九日出し

京着四拾兩也

拾六袋入 四丸

高 清水

四箇附沓駄也

封印

金三分也 道添金

御出判 沓通相添

大石田 榎本 巳刀吉殿

酒田 鑑屋窓右衛門殿

敦賀 丸屋半 助殿

塩津 仲村佐右衛門殿

大津 白銀屋 陸助殿

京富小路蛸薬師

上 渡会屋宗治郎殿行

榎岡 吉田屋藤兵衛殿出し

午紅花送手板

六月廿九日出し

京着三拾八兩貳分

拾七袋入 四丸

沓駄四袋也

金三分也 道添金

御出判 沓通相添

大石田 榎本 勇 吉殿

酒田 本間 幸四郎殿

敦賀 田保孫右衛門殿

塩津 仲村佐右衛門殿

大津 川口 弥 藏殿

東洞院姉小路

上 綿屋勇藏殿行

橿岡 吉田屋藤兵衛殿出し

午紅花送手板

六月廿九日出し

京着三拾八両式分

沢紅 拾六袋入 貳丸

京着四拾兩

高清水 拾六袋入 壹丸

京着四拾兩

同同 拾七袋入 壹丸

老駄 壹袋也

金三歩也 送り添金

御出判 老通相添

大石田 榎本 勇 吉殿

酒田 鏡屋惣右衛門殿

敦賀 丸屋 半 助殿

塩津 仲村佐右衛門殿

大津 白銀屋 陸助殿

大坂鳴町

上 嶋屋清兵衛殿行

橿岡 吉田屋藤兵衛殿出し

午紅花送手板

七月十一日出し

国一 拾八袋入 四丸 京着四拾五兩

同同 拾七袋入 壹丸

同断

〆 壹駄壹丸九袋也

封印

金壹両也

送り添金

御出判

壹通相添

〆 大石田 設樂治郎右衛門殿

酒田 鑑屋 惣右衛門殿

敦賀 丸屋 半助殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 川口 弥藏殿

京都

上 伊勢屋利右衛門殿行

午紅花送手板

午七月四日出し

京着四拾七両也

〆 仕 拾七袋入 八丸

〆 式駄八袋也

封印

金壹両貳分也

送り添金

御出判

壹通相添

〆 大石田 設樂治郎右衛門殿

酒田 根上 善平殿

敦賀 田保 孫右衛門殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 白銀屋 陸助殿

京都

上 伊勢屋源助殿行

手板貳通二而

午紅花送り手板

七月四日出し

京着四拾貳両貳分

〔和〕ヒト 拾八袋入 五丸

〆 壹駄壹丸 拾袋也

封印

金壹両也 送り添金

御出判 壹通相添

〆 大石田 設楽治郎右衛門殿

酒田 大沼 平 八殿

敦賀 丸屋 半 助殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 川口 弥 藏殿

京都

上 伊勢屋利右衛門殿行

午紅花送り手板

七月四日出し

〔和〕極天 拾七袋入 四丸 京着四拾貳両貳分

〆 壹駄四袋也

封印

金三步也 送り添金

御出判 壹通相添

〆 大石田 設楽治郎右衛門殿

酒田 鎧屋 惣右衛門殿

敦賀 丸屋 半 助殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 白銀屋 陸 助殿

京都

上 近江屋佐助殿行

午紅花送り手板

七月四日出し

〔和〕紅 拾六袋入 貳丸 京着四拾兩也 内貳百六拾匁袋 壹ッ入

封印

金壹步貳朱也 送り添金

御出判 老通相添

大石田 設樂治郎右衛門殿

酒田 本間 幸四郎殿

敦賀 田保 孫右衛門殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 川口 弥 藏殿

大坂

上 近江屋安治郎殿行

○為替手形入東根早坂徳兵衛方へ五拾両也、晦日切二而

然ル所御地未二月十二日出し、三月晦日着取、山形茂

八殿江賃錢貳百五拾文出し不申、右賃錢大坂近安方

御受取可申様申愈し候、甚夕延着也

○然ル所右金早坂氏相渡不申候二付、未四月十二日出

才三郎上名前ニ而山村屋ニ出し、尤右相渡リ不申候事、

並ニ右早坂為替入書状延着旁二付、ちん錢相濟シ不申候事、其外諸用色々申愈し候、右為替手形封シ入相返ス

○四月廿四日出し書状五月廿五日相達し申候、然ル所山形山村屋氏江右五十文賃錢相渡し申候、尤山形高田忠藏殿江為替手形入内ニ、谷地西幸殿江仕切入書状入、則五月廿六日ニ遣し賃百文西幸方受取相渡し

紅花荷物送手板

和吉 京着二十九兩 貳拾袋入 貳丸

同紅梅 京着三十拾六兩 拾九袋入 貳丸

同同 右同断 合拾九袋入 壹丸

内二兩吉三袋入

老駄片馬 老袋也

封印

一、金貳分式朱也 紅梅三丸添金

一、金壹分式朱也 雨吉式丸添金

金老兩也 手板貳通三而

御出判 壹通相添

午七月廿五日出し

大石田 設樂治郎右衛門殿

酒田 本間 幸四郎殿

敦賀 丸屋 半助殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 白銀屋 陸助殿

京都

村山屋半四郎殿行

吉田村 奥山才三郎荷主

紅花荷物送り手板

飛切 京着四十四兩貳分上り
拾八袋入 三丸

同同 拾七袋入 同断 壹丸

同同 拾六袋入 同断 壹丸

老駄壹丸七袋也

封印

金老兩也 送り添金

御出判 壹通相添

大石田 設樂治郎右衛門殿

酒田 根上 善平殿

敦賀 丸屋 半助殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 川口 弥藏殿

京都

伊勢屋源助殿行

午七月廿六日出し

未十二月二日出し、同廿四日着

一、金四拾三兩貳朱ト

銀老刃六分九厘

七百元 福嶋と山形迄之賃

四百文 山形と当地迄之賃

〆老メ百文

右者京都伊勢屋源助殿下り金子、山形西山庄七殿を請取

申込、如此御座候、以上

未十一月晦日切、三拾貳兩かへ

改済

御出判 壱通相添

〆 大石田 設楽治郎右衛門殿

酒田 根上善平殿

敦賀 丸屋半助殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 川口 弥蔵殿

京都

上 伊勢屋源助殿行

午七月廿六日出し

紅花荷物送り手板

紅花荷物送り手板

京着四十四兩貳分上り

〆 飛切 拾八袋入 四丸

〆 壱駄八袋也

封印

金三步也 送り添金

〆 飛切

京着四十四兩貳分上り

〆 拾八袋入 四丸

〆 壱駄八袋也

封印

金三步也 送り添金 御出判 壱通相添

大石田 設楽治郎右衛門殿

酒田 鑑屋 惣右衛門殿

敦賀 田保 孫右衛門殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 白銀屋 陸 助殿

京都

上 若山屋喜右衛門殿行

午七月廿六日出し

紅花荷物送り手板

極上 拾七袋入 八丸 京着四十三兩上り

封印 貳駄八袋也

封印

金壹両貳分也 送り添金

御出判 老通相添

大石田 設楽治郎右衛門殿

酒田 大沼 平 八殿

敦賀 田保 孫右衛門殿

塩津 仲村屋佐右衛門殿

塩津 白銀屋 陸 助殿

京都

上 伊勢屋利右衛門殿行

午七月廿六日出し

紅花荷物送り手板

極上 拾七袋入 六丸 京着四十三兩上り

封印 壹駄片荷六袋也

封印

金壹両貳朱也 送り添金

御出判 老通相添

大石田 設楽治郎右衛門殿

酒田 鑑屋 惣右衛門殿

敦賀 丸屋半 助殿
塩津 仲村 佐右衛門殿
大津 川口 弥 蔵殿
京都

上 綿屋勇蔵殿行

午七月廿五日出し

塩津 仲村 佐右衛門殿
大津 川口 弥 蔵殿
京都

上 渡会屋宗治郎殿行

午七月廿六日出し

紅花荷物送り手板

極上 京着四拾三兩上り
拾七袋入 四丸

杓駄四袋也

封印

金三步也 送り添金

御出判 老通相添

大石田 設楽治郎右衛門殿

酒田 根上善 平殿

敦賀 田保 孫右衛門殿

午十月五日出し

午十月廿七日出し

一、金四百兩也 但し封印儘二而

福嶋此地迄ちん金三分也払

右者京都伊勢屋利右衛門殿下し金子、隨に受取申候、以上

福嶋 飛脚 吉兵衛殿

嶋屋佐右衛門殿 同 長 吉殿

内訳

金百兩也 伊勢源殿分

才金五拾兩也 上村半殿分

金四拾兩也 近佐殿分

金四拾兩也 吉田勘右衛門分

金三拾兩也 渡宗殿分

金百四拾兩也 伊勢利殿分

元二合

(別紙)

一、金三步也 伊勢屋理右衛門殿方金四百兩之分

右之通貫銀髓ニ受取申候、以上

午十月廿四日

嶋屋清右衛門

印

堀米四郎兵衛様

午十一月十二日出し

同 廿九日着

一、金百兩也 但し式分判ニ而

福嶋方此地迄金卷分ト三百文

右者京若喜殿方下し金、山形山口屋甚蔵殿方相届ク

午十一月廿九日 飛脚

山形永助殿

午十一月廿日出し

午十二月廿一日着

一、金九拾兩也 但し封印儘ニ而

右ハ京都伊勢屋利右衛門殿方、京都ニ而三吉・喜内請取

午十二月廿三日

一、金五兩式分式朱ト 喜内・三吉方受取

彦刃五分五厘

右同断

一、金五拾兩也

右者大坂為替金髓ニ受取申候、尤近江屋安次郎殿分

未四月廿四日出し

同六月四日着受取

四郎兵衛

山形七日町

高田弓太郎様

未合判分

紅花送手板

未年分

国判仕 紅花拾八袋入 四丸
京着五拾三兩かへ

〆 壹駄八袋也

封印

一、仕入 九拾八袋分
国一 仁平次分
吉田

金三分也 送添金也

御出判 壹通相添

一、同同 式拾六袋
同同 正し式百七拾匁
かなや 四郎兵衛分

大石田 設樂治郎右衛門殿

酒田 鐘屋 惣右衛門殿

敦賀 丸屋 半助殿

一、上 中合卷袋正し百四拾匁 同 四郎兵衛分

塩津 仲村 佐右衛門殿

〆 上 中合印式袋二仕

京都

〆 百式拾六袋也

伊勢屋利右衛門殿行

但し拾八袋入 七丸二仕ル

未七月十三日

京都 伊勢屋利右衛門殿行

未十二月二日出し

未十二月廿七日着 金子受取ハ大一印之座ニ上ル

国一七丸之内、五丸現印四十兩かへニ参ル

京都

伊勢屋利右衛門殿行

金貳分也

大石田ら先添金

御出判

彦通相添

未三判分

七月十三日出し

紅花荷物送手板

国判仕 紅花拾八袋入 貳丸
京着五十三兩かへ

未十二月廿七日着

同判入 合拾八袋入 壹丸
同断

一、金五拾兩也 受取

同同 内ニ上中合印 貳袋入

外ニ書状彦通相添

添金 封印 三箇六袋也

福嶋屋佐右衛門殿ら受取
ちん貳朱ト五百文

大石田 設楽治郎右衛門殿

未十二月二日出し

酒田 根上 文 藏殿

御飛脚 富吉

敦賀 田保 孫右衛門殿

金次郎

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 白銀屋 陸 助殿

申正月五日出し

一、金貳拾兩也 外ニ書状彦通

ちん三百文 相渡し

京都 右衛門殿下し金子、山形佐治吉左衛門殿と相届

ク

申二月六日着

京都

大津 川口 弥藏殿

綿屋勇藏殿行

右壳附左二出し

未^〇分

紅花荷物送手板

十一月晦日切

済

〇ト

紅花拾七袋入 式丸

京着五拾式兩かへ

トヒ 三拾九兩かへ

四箇附 片馬式袋

封印

金壹分式朱 送添金

御出判 壹通相添

未^〇分

紅花荷物送手板

大石田 設樂治郎右衛門殿

〇ト

紅花拾七袋入 壹丸

京着五拾式兩かへ

酒田 本間 幸四郎殿

同同

合拾八袋入 壹丸

同断

敦賀 丸屋 半助殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

内二〇雨吉印 九袋入

四箇附 片馬三袋也

封印

金巻分式朱也 送添金

御出判 壺通相添

大石田 設楽治郎右衛門殿

酒田 大沼平八殿

敦賀 田保 孫右衛門殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 白銀屋 陸助殿

京都

綿屋勇藏殿行

未十二月六日出し 金子之儀ハ惣雨印之座ニ上ル

同月廿七日着

トヒ印 六十袋也 ト一ハ各三十八両かへ

惣雨印 壺駄八袋 ト一ハ各三十三両かへ

雨吉印 九袋 ト一ハ各三十両かへ

十一月晦日切売附

濟

未浅吉為替元組

未七月十三日

一、紅花 九拾八袋ト九拾両

此引實金六拾両也

内

金三兩也

海上請合

金三兩也

未七月分ハ十月迄、四ヶ月分利

足

壺メ百廿五文

沢畑ハ大石田迄送り實

三匁

御出判料

代三百三十文

三百文

荷送り實

三百文

蕙六枚代

三百文

大なわ六巴代

百八拾文 花筵四枚、菰六枚、すりなわ六巴

代

未七月二日

此り 式百九拾四文 未六月卷ケ月分

百文

酒代、飯代、原表代

六メ文

古米四表代

金壹両貳分也

大石田先添金

未七月五日

金五兩ト拾メ文

未六月九日渡し

三メ文

古米貳表代

此り 六百四拾文 未六月卷ケ月分

金七兩也

未七月五日渡し

未六月九日

金拾兩也

未七月十日渡し

七百文

染下巻反代

金五兩也

未七月十一日渡し

金五兩ト貳拾メ文 未六月十八日渡し

未十二月十六日改

金六兩卷分ト

去午ノ御年賣金

此り 七百九拾文 未六月卷ケ月分

七十九文

未六月十八日

右ハ去午ノ小前方御年賣、並仁平次方御年賣共、

四メ五百文

古米三表代

但し名細書相渡し

金拾兩也

未七月廿二日渡し

メ金五拾八兩三分ト

此り 九百八拾卷文 未六月卷ケ月分

五拾四メ百拾九文

未六月廿三日

此金八兩三分也

四メ五百文

古米三表代

合而金六拾七兩也

金三兩也

未六月廿九日渡し

かし

右江上方仕切入 但し四拾兩かへ

金六拾壹兩壹分貳朱也

差引而

金五兩貳分貳朱也 不足

申此り 金五分卜丁五匁六分

元利

ノ金六兩壹分

丁銀拾三匁壹分

酉十月廿三日濟

ノ 皆濟

未才三郎為替取組

未七月十三日

一、紅花 六拾袋也

此為替金三拾三兩也

内

金壹兩貳分卜

海上請合

九百八拾壹文

金壹兩貳分卜

未七月と十月迄

九百八拾壹文

ノ四ヶ月分利足

六百五十文

沢畑と大石田迄送り賃

貳百六文

御出判料

金壹兩也

大石田にて送り添金

貳百文

荷送り賃

貳百文

蕨四枚代

貳百文

大なわ四巴代

百貳拾文

すりなわ・こも・花蕨代

六拾七文

酒代・飯代・原表代

両かへ壹メ六百四十文

拾メ文

未六月五日渡し

此り百五拾文 未六月壹ヶ月分

未六月八日

金三兩壹分貳朱也

天草貳本代、新左衛門と渡り

此り三百三拾壹文 未六月壹ヶ月分

金五兩ト五メ文 未六月廿二日渡し

此り五百六拾五文 未六月壹ヶ月分

金五兩也 未六月廿四日渡し

此り四百九拾文 未六月壹ヶ月分

金拾兩也 未七月十二日渡し

金三兩也 未七月十四日直渡し

金三拾三兩壹分貳朱ト

四百六拾壹文

かし、先仕切ニ出ス

引而金三拾五兩貳分貳朱也

内

一、金三拾三兩壹分貳朱ト

四百六十壹文

一、金三分ト

銀五匁六厘貳毛

一、銀三匁五分四厘

一、同六匁八分四厘

一、同八匁三分

小以金三拾四兩貳分ト

五百九十七文

差引金壹兩ト

貳百廿八文

此分未ノ書出帳ニ上ル

申七月廿八日改

濟

仕切控

未十一月晦日切

一、金三拾六兩貳分ト 三十九兩替也

銀三匁七分五厘 利ト印拾七入三丸九袋

内金三分貳朱ト 一口錢引

銀三匁七分五厘

為替貸附金也

廿兩壹分わり

未十一・十二貳ヶ月分

利

手板添金不足

上方より福嶋迄下しちん

福しまり当地迄着ちん

過

未三吉為替元組

未七月十三日

一、紅花九袋

此為替金五兩也

内

金卷分也

海上請合

金卷分也

未七月より十月迄、 \times 四ヶ月分利

百弍十文

沢畑より大石田迄送りちん

三十卷文

御出判料

九百弍拾文

大石田先送ちん

七百五文

荷造大なわ、荷蕙代

十五文

すりなわ、花蕙、飯代、酒代

金弍兩也

六月廿二日渡し

此り百九拾七文 未六月卷ヶ月分

兩かへ卷 \times 六百四十文

金弍兩ト拾メ文 未六月廿日渡し

此り三百四十七文 六月卷ヶ月分

未七月八日改

入卷 \times 三百九拾弍文 生花代差引、過錢預り

此分未書出帳上ル

百弍拾八文 手板不足

\times 金六兩卷分ト

三百五拾卷文

かし、先江出ス、仕切表

仕切控

一、金四兩卷分ト

未十一月晦日切

三十卷兩かへ

銀六匁五分五厘 ㊦雨吉印九袋

内弍朱ト九分四厘 ト一口銭引

引金四兩弍朱ト

銀五匁六分弍厘

内

一、金六兩卷分ト

為替貸附金也

三百五十卷文

一、銀五匁六分弍厘五毛 廿兩卷分ノわり

壹両壹分ノ利、未七月迄十二月迄六ヶ
月分

一、貳朱也

金五両ノ利、未十一・十

二式ヶ月分

一、銀八分壹厘

上方と福嶋迄下しちん

一、同九分八厘

福嶋と当着ちん

小以金六両貳分ト

三百四十壹文

差引金貳両壹分ト

不足かし

五百四十八文

此分未ノ書出帳ニ上ル

申七月廿八日改

未(分)

紅花荷物送手板

飛雨 紅花拾六袋入 貳丸
京着五拾貳両かへ

同同 合拾六袋入 同断 壹丸

内二舎印式袋入 (分)

四箇付 三丸

封印

金貳分式朱 大石田先添金

御出判 壹通相添

大石田 設染次郎右衛門殿

酒田 本間 幸四郎殿

敦賀 田保 孫右衛門殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 川口 弥 蔵殿

京都

近江屋佐助殿行

七月廿日出し

(分)

飛雨貳丸十四袋 未十二月晦日切、申正月二日着

①分 但し四十壹両かへ

舎貳袋也 右同断

但し三十五両かへ

右金左二控

済

未久之助為替取組

一、紅花四拾六袋也

外ニ①分貳袋造合

四拾八袋也

此為替金貳拾八両也

内

金壹兩壹分卜 海上金

丁銀九匁

金壹兩壹分卜 未七月より十月迄

丁銀九匁 四ヶ月利足

銀壹匁五分 御出判料

金五両也 未六月八日渡ス

此り銀四匁五分 六月壹ヶ月分

金貳両也 未六月廿一日渡

此り銀壹匁八分 六月壹ヶ月分

金三両也 未六月廿三日渡ス

此り銀貳匁七分 六月壹ヶ月分

金三両也 未七月十九日渡ス

金貳両也 未七月廿一日渡ス

金八両也 未七月廿四日渡ス

金貳両也 未七月廿八日渡ス

金貳拾七兩三分貳朱卜

六匁

かし

此分先仕切表ニ出ス

仕切控

未十二月晦日切

四十壹兩替也

一、金貳拾九兩壹分貳朱ト [判]飛雨印拾六入貳丸

銀五匁六分貳厘 拾四袋

一、金壹兩ト 三十五兩かへ

銀五匁六分貳厘 同さし 貳袋

〆金三拾兩貳分ト 〆拾六入三丸

銀三匁七分四厘

内

一、金貳拾七兩三分貳朱ト 為替貸附金

銀六匁

一、同壹分ト 未十一月壹ヶ月分利

銀六匁 廿兩壹分ノわり

一、同貳分ト 上方利足廿五兩壹分わり

銀三匁六分 未ノ十一・十二貳ヶ月分

立替分

一、銀拾壹匁壹分 手板添金不足

一、同四匁六分八厘 上方方福しま迄下しちん

一、同六匁九分貳厘 福しま方当地迄着ちん

小以〆金貳拾九兩壹分ト

銀八分

差引金壹兩壹分ト 過

銀貳匁九分四厘

此分未ノ書出帳ニ上ル

申七月廿八日改

〆 濟

未位三七〇

紅花荷物送手板

〆大 京着三拾六兩かへ

〆一 紅花拾八袋入 四丸

〆四箇附壹駄八袋也 封印

金三分貳朱也 大石田先添金

御出判 壹通相添

〆大石田 設楽治郎右衛門殿

酒田 鏡屋 惣右衛門殿
敦賀 丸屋 半助殿
未七月廿六日出し

塩津 仲村 左右衛門殿
大津 川口 弥蔵殿

京都

上 伊勢屋利右衛門殿行

未紅花荷物送手板

〔判〕紅梅 京着三拾四両かへ
紅花拾八袋入 四丸

四箇附忝駄八袋也

封印

金三分式朱也 大石田先添金

御出判 忝通相添

大石田 設楽治郎右衛門殿

酒田 根上 文蔵殿

京都

上 若山屋喜右衛門殿行

未七月廿六日出し

未紅花荷物送り手板

〔判〕惣雨 京着三拾七両かへ
拾七袋入 八丸

四箇附忝式拾八袋也

封印

金壹両三分也 大石田先添金

御出判 忝通相添

大石田 設楽治郎右衛門殿

酒田 本間 幸四郎殿

敦賀 田保 孫右衛門殿

塩津 仲村 佐右衛門殿
大津 白銀屋 陸 助殿

京都

伊勢屋源助殿行

未七月廿六日出し

申四月晦日切 忝拾八兩かへ

申五月十一日出し

一、金五拾八兩三分ト 外ニ書状老通

銀老匁式分四厘

ちん 忝朱ト忝百文

右京都伊勢源殿任切金、福嶋屋佐右衛門殿ト髓ニ受取申

候 飛脚 松之助殿

申五月廿四日

可決

未紅花荷物送り手板

雨 惣

京着三拾七兩かへ
拾八袋入 四丸

四箇附 忝駄八袋也

封印

金三分式朱也

大石田先添金

御出判

老通相添

大石田

設楽治郎右衛門殿

酒田

大沼 平 八殿

敦賀

丸屋 半 助殿

塩津

仲村 佐右衛門殿

大津

白銀屋 陸 助殿

京都

綿屋勇藏殿行

未七月廿六日出し

十一月晦日切

三十四兩かへ

福嶋ト此地迄金老分ト三百文払

未十二月廿七日着

一、金七拾六兩ト 改請取

錢七百四拾四文

外ニ書状相添 未十二月二日出し

右綿勇殿下り金子、嶋屋佐衛門殿も相届ク

御飛脚 富 吉

金治郎

ノ 濟

未紅花荷物送り手板

ノ 極 京着三十五両式分かへ
拾七袋入 四丸

ノ 四箇附 老駄四袋也

封印

金三分式朱也 大石田先添金

御出判 老通相添

ノ 大石田 設楽治郎右衛門殿

酒田 鏡屋 惣右衛門殿

敦賀 丸 屋 半 助殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 川 口 弥 蔵殿

京都

近江屋佐助殿行

未七月廿六日出し

太極上十四入四丸

未十二月晦日切、三十三両かへ

一、金五拾兩也 改受取

外ニ書状老通相添

福嶋も当地江ちん式朱ト三百文私

右ハ京都近江屋佐助殿下り金子、慥ニ受取申候、以上

未十一月五日出し

同十二月四日着

飛脚 林 蔵様
十次郎様

申正月五日出し

一、金拾四両也 外ニ書状壹通

ちん五百文 福嶋を当地迄分相払

右ハ京都近佐殿下リ金子、福嶋佐右衛門殿と相届ク

申二月六日着

飛脚 和 助殿

留 吉殿

相済

御出判 壹通相添

大石田 設楽治郎右衛門殿

酒田 根上文 蔵殿

敦賀 丸屋半 助殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 川口 弥 蔵殿

京都

上 伊勢屋利右衛門殿行

未七月廿六日出し

位三六式

未紅花荷物送り手板

京着三拾五両式分かへ

利極 拾七袋入 四丸

四箇附 壹駄四袋也

封印

金三分式朱也

大石田先添金

未紅花荷物送り手板

京着三十八両かへ

利玉 拾七袋入 貳丸

同 拾八袋入 貳丸

同 同断

四箇附 壹駄六袋也

封印

金三分貳朱也

大石田先添金

御出判

老通相添

大石田 設樂治郎右衛門殿

酒田 本 間 幸四郎殿

敦實 田保 孫右衛門殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 白銀屋 陸 助殿

京都

村山屋半四郎殿行

未七月廿六日出し

右申正月晦日切売附參ル

三拾貳両かへ

覚

一、金三拾両也 封印儘ニ而

外ニ書状老通相添

福嶋を当地迄ちん貳朱相渡候

右者京都柴崎宗右衛門殿下り金子、十月十一日出し十一

月十六日相達慥ニ受取申候

未十一月十六日

福嶋印

嶋屋佐右衛門を

飛脚 和十郎殿

覚

申正月晦日切売附

一、金三兩貳分貳朱也

仕切金

外ニ書状老通相添

右者京都柴崎宗右衛門殿を仕切金、榎岡吉田勘右衛門殿

を受取申候

申二月八日出し

同四月五日着

甚夕延着

濟

未紅花荷物送り手板

雨 京着三拾貳両かへ
大 貳拾袋入 貳丸

四箇附 片馬八袋也

封印

金貳歩也

大石田先添金

御出判

老通相添

大石田 設楽治郎右衛門殿

酒田 大沼 平 八殿

敦賀 丸屋 半 助殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 川口 弥 藏殿

大坂

近江屋安次郎殿行

未七月廿六日出し

未五月十四日書

一、金貳朱ト

去午紅花代下し由

丁銀貳分三厘

差引過金かし

一、金壹分ト

五十兩分五月壹ヶ月分

永拾匁

七朱利足

未十月四日出

福嶋を当地迄五百文相渡ス

一、金拾五兩也

外ニ書状老通

右者福嶋京屋弥兵衛殿を相届ク

未十月廿二日八ツ時着

紅花荷物送手板

沢 雨

京着三拾六両かへ
貳拾三袋入 貳丸

内ニ合印老丸之内ニ、上々ちり花壹袋入

四箇附 片馬拾四袋也

封印

金貳分也

大石田先添金

御出判

老通相添

大石田

設楽次郎右衛門殿

酒田 本間 幸四郎殿

敦賀 田保 孫右衛門殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 川口 弥 蔵殿

京都

綿屋勇蔵殿行

八月六日出し

(貼紙)

覚

一、金三両老步式朱

五拾八文

右者破船諸掛金槌ニ請取申所美正ニ御座候、以上

未十月十一日

仲間飛脚

市三郎

堀米四郎兵衛殿

一、永拾四匁四分四厘

右者破船紅花式丸敦賀迄運ちん立かへ分、槌ニ受取申候、

以上

本間 幸四郎

申五月晦日切、正味式拾四両かへ参ル

五月十二日出、六月十二日着

申五月晦日出し

一、金拾四両式朱ト

六匁壹分

福嶋ちん四百文 相渡し

右者京都綿屋勇蔵殿に仕切金、嶋屋佐右衛門殿に相届ク

飛脚 甚次郎殿

嘉 吉殿

申五月晦日切

式十五両かへ

済

申紅花荷物送手板

申紅梅 京着三拾四兩上り 拾七袋入 四丸

但し四箇附 壹駄四袋也

封印

一、金三分也 送添金也

一、御出判 壹通相添

大石田 設楽次郎右衛門殿

七月廿一日 酒田 本間 幸四郎殿

敦賀 丸屋半 助殿

塩津 仲村佐右衛門殿

大津 川口弥 蔵殿

京都

上 近江屋佐助殿行

中間物 四

申十月七日出し

一、金六拾兩也 外二書状壹通

ちん金壹分式朱ト

三百文

外二四十五兩村半分下り 飛脚嘉吉殿 壹人
兩人ト右ちん二而則先ニ出ス

右者近佐殿下り金子、嶋屋佐右衛門殿ト相届ク

申十一月五日着

申紅花荷物送手板

申紅梅 京着三拾三兩上り 拾八袋入 四丸

但し四箇附 壹駄八袋也

封印

一、金三分也 送添金

一、御出判 壹通相添

大石田 設楽次郎右衛門殿

酒田 本間 幸四郎殿

敦賀 丸屋半 助殿

右者大坂近安殿下り金子、山形山村屋茂八殿と相届ク

閏八月廿二日出し

山形飛脚

九月十九日

平吉殿

ちん七百六拾文

相払

上 近江屋安次郎殿行

中間物 三九

大坂

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 川口 弥 藏殿

(別紙)

覚

一、金貳拾五両也 大坂 近安殿代

添状老通

福嶋方御地迄 七百六拾文

右之通昨日着仕候間、御届ケ申上候、御改御受取可被下候、尤實錢御渡し可被下候、以上

申九月十九日

山村屋茂八

沢畑 堀米四郎兵衛殿

一、金貳拾五両也 封印二而

外ニ書状老通相添

申紅花荷物送手板

京着三十五両上り

五
紅

拾六袋入 四丸

但し四箇附 老駄也

封印

一、金三分也

送添金

一、御出判

老通相添

大石田 設楽次郎右衛門殿

酒田 根上 善 平殿

敦賀 田保 孫右衛門殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 白銀屋 陸 助殿

京都

上 村山屋半四郎殿

中間物 四巻

申十月十一日出し

一、金四拾五兩也 外二書状老通

ちん金巻分式朱ト三百文

近佐殿分共ニ右ちんニ而相下リ、則近佐長面（巻）に印

福嶋 飛脚嘉吉殿

右者京都村山屋半四郎殿より下り金子、嶋屋佐右衛門殿より

届ク

申十一月五日着

封印

一、金三分也 大石田先添金

一、御出判 老通相添

大石田 設楽治郎右衛門殿

酒田 根上 善平殿

敦賀 田保 孫右衛門殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 白銀屋 陸助殿

京都

上 伊勢屋利右衛門殿行

中間物 三九

申紅花荷物送手板

大紅 京着二十四兩上リ 拾七袋入 老丸

極上 京着二十四兩上リ 拾七袋入 四丸 但し四箇附 老駄四袋也

同同 拾八袋入 壹丸

四箇附 片馬三袋也

封印

一、金貳分也 送添金

一、御出判 壹通相添

大石田 設樂治郎右衛門殿

酒田 根上 善平殿

敦賀 田保 孫右衛門殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 白銀屋 陸助殿

大坂

上 嶋屋清兵衛殿行

中間物 三六

申紅花荷物送手板

京着三十六兩上り

引仕 拾八袋入 八丸

四箇附 貳駄壹丸

封印

一、金壹兩三分也 送添金

一、御出判 壹通相添

大石田 設樂治郎右衛門殿

酒田 本間 幸四郎殿

敦賀 田保 孫右衛門殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 白銀屋 陸助殿

京都

上 綿屋勇藏殿行

中間物 四四

此ちん金壹兩貳分貳朱卜、福嶋を当地迄四百八拾六文

一、金三百兩也 申十二月二日出し

此ちん金壹兩也、右同断

一、金百兩也 申十二月五日出し

金四百兩也 封印儘二而

外ニ書状式通相添

右者京都綿屋勇藏殿と下リ金子、福嶋佐右衛門殿と相届

ク

申極月廿七日着

福嶋飛脚 林 藏殿

銀兵衛殿

堀米四郎兵衛様

嶋屋佐右衛門 ㊦

申紅花荷物送手板

可仕 入 京着二十六兩上リ 拾八袋入 八丸

四箇附 式駄巻丸

封印

一、金巻兩三分也 送添金

一、御出判 巻通相添

一、金巻兩式分式朱ト 綿勇様と金三百兩也

四百八十六文 書状

一、金巻歩也 右同 金百兩也

金巻兩式分式朱ト

四百八十六文

右之通り質銀髓ニ受取申候、以上

十二月廿三日

京都

上 伊勢屋源助殿行

大石田 設業次郎右衛門殿

酒田 大 沼 平 八殿

敦賀 丸 屋 半 助殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 川 口 弥 藏殿

中間物 四四

〔別紙〕

覚

一、三百文 金拾五兩也

書状彦通

一、貳百文 右福嶋ら山形迄之届實

山形ら御当地迄ちん受取申候

右之通髓二御受取申候、尤山形ら之届ちんも、先払二御

座候間、御払可被下候、以上

未十月廿日

京屋弥兵衛 印

谷地 堀米四郎兵衛殿

〔別紙〕

覚

一、金拾四兩也 京都近江屋佐助殿ら

此實五百文

右者福嶋ら当所迄實錢、髓二受取申候

二月六日 鳴屋飛脚 利助

富吉 印

四郎兵衛様

内楯 三吉殿為替取組

舎極
天

紅花拾七入 四丸 但し權作仕入

若山殿喜右衛門殿行

此為替金貳拾五兩也

此海上請合金壹兩壹分也

此利金三分ト拾彦匁貳分五厘

閏八月ら十月迄ら三ヶ月分

合金貳拾七兩ト かし

丁銀拾壹匁五分五厘

但し十一月より利付、是ハ為替かし分

此り三兩式分ト

拾四匁式歩五厘

申十一月より西九月迄、 \times 十匁ヶ月分

外ニ別格証文かし付分

西八月廿三日改

内格付

金三拾三兩也

同人直かし

但し閏八月より利付分

但し為替なし、証文かし之分

此り五兩三分ト壹匁五分

申閏八月より西九月迄、 \times 十四ヶ月分

申十月七日

酉

入金三拾兩也

喜内受取

右ハ若山喜右衛門殿下り金二見トル分

此り四兩式分、申十月より西九月迄十二ヶ月分

西八月三日
入金三兩也

直請取

彼是差引過金等ニ而

此り四匁五分、酉八・九 \times 二ヶ月分

酉九月五日

入金五兩也

此り三匁七分五厘

酉九月壹ヶ月分

右差引而

金式拾七兩三匁七分五厘 不足

此錢四百十式文

外ニ金式兩ト壹 \times 式百八十八文

当座長かし

\times 金式拾九兩壹 \times 七百文

内壹 \times 七百四十文

当座長かし、酒三度から表共引

引残り金式拾九兩之内 不足

四十文返り

内金式拾壹兩式分 只今受取

金七兩壹分壹 \times 六百十文

此分土蔵不残、並ニ此方ニ而預り置候

しんちゅう、かなく共買受代二而済

酉十月七日晚立合済

則差引書相渡し

右為替証文相返ス

京都

上 伊勢屋利右衛門殿行

四五

申荷物送手板

利国 京着三十七兩上り
拾六袋入 四丸

四箇附 壹駄也

封印

一、金三分也 送添金

一、御出判 彦通相添

大石田 設楽次郎右衛門殿

酒田 本間 幸四郎殿

敦賀 丸屋 半助殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 川口 弥藏殿

七月廿六日
出し

申荷物送手板

利飛切 京着二十三兩上り
拾七入 四丸

壹駄 四袋也

封印

一、金三分也 送添金

一、御出判 彦通相添

大石田 設楽次郎右衛門殿

酒田 本間 幸四郎殿

敦賀 丸屋 半助殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 川口 弥藏殿

京都

上 伊勢屋源助殿行

四

申荷物送手板

京着三十四兩上り

玉 錦 拾六入 四丸

四箇附 沓駄也

封印

一、金三分也

送添金

一、御出判

沓通相添

大石田 設楽治郎右衛門殿

酒田 根 上 善兵衛殿

敦賀 田保 孫右衛門殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 川 口 弥 助殿

京都

上 若山屋喜右衛門殿行

四沓

申荷物送手板

京着三十三兩上り

本 紅 拾七入 四丸

沓駄 四袋也

封印

一、金三分也

送添金也

一、御出判

沓通相添

大石田 設楽次郎右衛門殿

酒田 根 上 善 平殿

敦賀 田保 孫右衛門殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 白銀屋 陸 助殿

京都

上 村山屋半四郎殿行

四

申荷物送手板

丸
紅 京着三十五兩上り
拾六入 四丸

四箇附 壹駄也

封印

一、金三分也 送添金

一、御出判 壹通相添

大石田 設楽次郎右衛門殿

酒田 大沼 平 八殿

敦賀 田保 孫右衛門殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 白銀屋 陸 助殿

京都

上 近江屋佐助殿行

四式

申荷物送手板

雨
摘 京着三十三兩上式分上り
拾九入 貳丸

片馬 六袋也

封印

一、金貳分也 送添金

一、御出判 壹通相添

大石田 設楽次郎右衛門殿

酒田 大沼 平 八殿

敦賀 丸屋 半 助殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 白銀屋 陸 助殿

大坂

上 嶋屋清兵衛殿行

四

長瀬東屋御中間分

一、紅花 九駄壹丸三袋也

代金三百九兩卷分ト

錢卷×三百六拾四文

但し紅花代諸懸リ京都送添金共ニ

此分式ツ判 ナ 兩入

金百五拾四兩式分式朱ト

錢六百八拾式文 宛

東屋御手干分

一、三百拾袋 三百式拾五匁

此駄四駄三丸六袋ト

正ミ三百式拾五匁

此分四駄八分五厘三九〇 手折

代金百六拾兩ト

永拾七匁八分七厘

三拾三兩かへ

内

金百五拾四兩式分式朱ト

錢六百八拾式文

右中間乗金ニ而相渡ス

又金五兩卷分式朱ト

錢四百九拾七文

右者正金ニ而此度相渡ス

元ニ合 紅花代相濟

申七月廿三日

一、金五拾四兩式分也

右乗合紅花引当質シ

金式拾兩ニ卷分利かし、卷ケ月ニ

但し証文預リ置

申八月一日

一、金八拾五兩也

源藏殿御兩人ニ渡ス

右乗合紅花引質質シ

利足之儀ハ右同断証文預リ置

長瀬 庄六

使源藏渡ス

西荷物送手板

仕入

紅花拾七入 四丸

四箇附 壹駄四袋

封印

一、金三分式朱也 送添金

一、御出判 彦通相添

大石田 設楽次郎右衛門殿

酒田 大沼 平 八殿

敦賀 丸屋 半 助殿

塩津 中村 佐右衛門殿

大津 白銀屋 陸 助殿

京都

伊勢屋源助殿行

西七月十二日出し

戊正月五日出し

一、金四拾五両式朱卜

外二書状彦通

銀三匁六分式厘

福嶋より当地迄賃金壹分也払

右八京都伊勢源殿より下し金子、山形山村屋茂八殿より相届

ク

戌二月一日着 山村屋悴

平吉殿

一、彦通 濟

東根三沢氏立合濟

(別紙)

一、金四拾五両式朱卜

彦通

銀三匁六分八厘

堀米四郎兵衛

添状彦通

福しまり当地迄 京都

金彦歩也

伊勢屋源助殿

西荷物送手板

口紅 拾八袋入 三丸

同同 拾九袋入 壹丸

四箇附 壹駄九袋也

封印

一、金三分貳朱也 送添金

一、御出判 壹通相添

大石田 設樂次郎右衛門殿

酒田 根上 善兵衛殿

敦賀 田保 孫右衛門殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 川口 弥藏殿

京都

近江屋佐助殿行

七月十二日出し

三沢氏立合相濟

酉荷物送手板

一 式拾袋入 八丸

四箇附 貳駄片馬

封印

一、金壹兩三分也 送添金

一、御出判 壹通相添

大石田 設樂次郎右衛門殿

酒田 本間 幸四郎殿

敦賀 丸屋 半助殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 川口 弥藏殿

京都

近江屋佐助殿行

酉七月十二日出し

酉九月二日出し

一、金六拾兩也 外ニ書状志通

右者近屋佐助殿下り金子、嶋屋佐右衛門殿を相届ク

福嶋^〆当地迄

式朱卜五百文相払

酉九月廿五日着

飛脚 幸吉殿

三沢氏立合相済

一、御出判

壹通相添

^〆大石田 設樂次郎右衛門殿

右之賃銀髓ニ受取申候、已上

酉九月廿三日 鳴屋佐右衛門

堀米四郎兵衛殿

印

〔別紙〕
覚

一、式朱卜

近江や佐助殿^〆

五百文

金六拾兩入二有之

^〆片馬三袋也

〔別紙〕

紅花貳拾袋入

三丸

同同

合紅花拾九袋入 壹丸

内二雨吉印 四袋入

^〆壹駄拾五袋入

封印

一、金壹兩貳分也 大石田先添金

亥年分

紅花荷物送手板

〔別紙〕

紅花拾八袋入

壹丸

同同

紅花拾七袋入

壹丸

大石田 設樂治郎右衛門殿

亥七月
九日出し

酒田 根上 善兵衛殿

敦賀 田保 孫右衛門殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 川口 弥 藏殿

京都

綿屋勇藏殿行

亥紅花荷物送手板

拾八袋入 八丸

弌貳駄六袋也

封印

一、金沓両式分也

送添金

外二御出判

彦通相添

大石田 設楽治郎右衛門殿

酒田 本間 幸四郎殿

敦賀 丸屋 半助殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 川口 弥藏殿

京都

伊勢屋源助殿行

亥七月十日出し

亥紅花荷物送手板

拾八袋入 八丸

弌貳駄拾六袋也

封印

一、金沓両式分也

送添金

外二御出判

彦通相添

大石田 設楽治郎右衛門殿

酒田 大沼 平八殿

敦賀 田保 孫右衛門殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 川口 弥藏殿

京都

伊勢屋利右衛門殿

亥七月十日

弌高飛

弌ヒト

亥紅花荷物送手板

弌拾袋入 五丸

〆 沓駄片馬四袋也

封印

一、金沓兩式朱也 送添金

外二御出判 沓通相添

〆 大石田 設樂治郎右衛門殿

酒田 根上 文 藏殿

敦賀 丸屋 半 助殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 川口 弥 藏殿

京都

綿屋勇藏殿行

亥七月十日出し

亥八月二日

右添金之内沓分也 設樂と帰ル

亥紅花荷物送手板

〔中〕
七 式拾袋入 五丸

〆 沓駄片馬四袋也

封印

一、金沓兩式朱也 送添金

外二御出判 沓通相添

大石田 設樂治郎右衛門殿

酒田 本間 幸四郎殿

敦賀 田保 孫右衛門殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 川口 弥 藏殿

京都

若山屋喜右衛門殿行

亥七月十日出し

亥紅花荷物送手板

亥十月八日出、現金三十六兩

〔中〕
高 尾 式拾三袋入 沓丸

右同断

同同 貳拾貳袋入 壹丸

片馬拾三袋也

封印

一、金貳分也 送添金也

外二御出判 壹通相添

大石田 設樂治郎右衛門殿

酒田 大沼 平 八殿

敦賀 丸屋 半 助殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 川口 弥 藏殿

大坂

嶋屋清兵衛殿

亥七月十日出し

笹川久之助殿為替取組

一、紅花 拾八袋入 壹丸

一、同 拾七袋入 壹丸

紅花 三拾五袋也

此引質金拾六兩貳分也

かし

内

金三分下四匁五分 海上

金三分下四匁五分 七月より十月迄四ヶ月分

金八兩也 花場渡し

銀七匁貳分 閏六月壹ヶ月分利

金貳兩也 七月二日渡ス

金拾壹兩三分下

壹匁貳分

差引而金四兩貳分貳朱下

六匁三分 渡ス

亥七月十日改取組

吉田浅吉殿為替取組

一、紅花 貳拾袋入 三丸

一、同 拾九袋入 壹丸

金拾四兩三分ト

紅花壹駄拾五袋也

三十五文

渡ス

此引質金三拾五兩也

亥七月十日改相組

かし

内

金壹兩三分也

海上金

京都より下り金

金壹兩三分也

七月より十月迄

亥十月十二日出し

京都

四ヶ月利

入金貳拾五兩也

綿屋勇藏殿下り金子

金拾兩也

花場渡し

福嶋ちん金三朱也

銀九匁

閏六月壹ヶ月分利

京屋弥兵衛殿より相届ク

代九百九十文

亥十一月二日出、同廿二日着

京都

綿屋勇藏殿より下り金子

拾メ文

花場渡し

福嶋より当地迄賃金壹兩貳分八拾文出ス

百五十文

酉六月壹ヶ月分利

京都嶋屋佐右衛門殿より届ク

三百七拾五文

生酒五升代

飛脚

吉兵衛殿

金五兩也

亥七月八日渡し

新六殿

金貳拾兩ト

老メ六百拾五文

差引而

子年紅花荷物送手板

引仕
入 紅花拾七入 貳丸

引同
同 拾八入 壹丸

内ニ舎印八袋 三百目入

右ハ三吉殿分

残り四拾三袋也

右ハ四郎兵衛分

三丸四袋也

封印

一、金貳分貳朱 大石田先送添金

一、御出判壹通 相添也

大石田 設樂治郎右衛門

酒田 本 間 幸四郎

敦賀 田保 孫右衛門

塩津 仲村 佐右衛門

大津 塩屋 佐右衛門

京都

近江屋佐助殿行

右三吉分送添金、並ニ出判袋繩延其外一式、此方ニ而立替仕切勘定之節取べし

子十二月七日出し

一、金四拾貳兩三分卜

六匁九分三厘

山形村井清七殿江為替ニ而下ル

右者天童佐藤喜兵衛様方受取

丑二月廿日

丑二月十二日

一、貳百文

貫津

庄次郎弘

為替状ちん弘

丑二月廿八日

三吉殿立合相濟

丑年八月十七日出し
紅花荷物送手板

㊦倚印 拾八袋入 四丸

同吉印 拾八袋入 四丸

ㄨ 八丸

封印

金壹兩貳分也 送り添金

御出判 壹通 相添

ㄨ大石田 設楽治郎右衛門殿

酒田 鑑屋 惣右衛門殿

敦賀 田保 孫右衛門殿

塩津 中村 佐右衛門殿

大津 塩屋 佐右衛門殿

京都

伊勢屋源助殿行

丑年紅花荷物送手板

㊦登印 拾八袋入 四丸

同成印 拾八袋入 貳丸

同同印 拾七袋入 貳丸

ㄨ 八丸

封印

金壹兩貳分也 送添金

御出判 壹通相添

ㄨ大石田 設楽次郎右衛門殿

酒田 本間 幸四郎殿

敦賀 丸屋 半助殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 塩屋 佐右衛門殿

京都

伊勢屋源助殿行

丑年紅花荷物送手板

㊦平印 拾六袋入 貳丸

同同印 拾七袋入 貳丸

同弥印 拾八袋入 三丸

同同印 拾九袋入 貳丸

九丸

封印

金壹兩三分也 送添金

御出判 老通相添

大石田 設業治郎右衛門殿

酒田 大沼 平 八殿

敦賀 田保 孫右衛門殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 塩屋 佐右衛門殿

京都

伊勢屋源助殿行

丑年分

紅花荷物送手板

丁印 拾九袋入 四丸

同同印 貳拾袋入 貳丸

六丸

封印

金壹兩貳朱也 送添金

御出判 老通相添

大石田 設業次郎右衛門殿

酒田 本間 幸四郎殿

敦賀 田保 孫右衛門殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 塩屋 佐右衛門殿

京都

伊勢屋源助殿行

丑年紅花荷物送手板

堀印 拾八袋入 三丸

同同印 拾九袋入 壹丸

同羽印 拾八袋入 壹丸

同同印 拾九袋入 三丸

八丸

封印

金壹兩貳分也 送添金

御出判 老通相添

大石田 設染治郎右衛門殿

酒田 根上善平殿

敦賀 丸屋半助殿

塩津 仲村 佐右衛門殿

大津 塩屋 佐右衛門殿

京都

伊勢屋源助殿行

山形佐治吉^(マツ)左右衛門様御分
控
上方為登紅花荷為替分

一、紅花 拾六袋入 貳丸

一、同 拾七袋入 四丸

一、同 拾八袋入 貳拾壹丸

一、同 拾九袋入 拾丸

一、同 貳拾袋入 貳丸

三拾九丸 但し七百八袋

此駄 拾壹駄四袋也

此為替金三百三拾五兩也

月壹割五分 貸附

但し丑十一月迄ノ利足相濟、九・十・十一ノ三ヶ

月分

海陸其外何事諸難此方差構無御座候、以上

右者为替取組任御差圖、京都伊勢屋源助殿ニ為差登申候、尤右荷物二付、海陸之難其外問屋漬、何様之諸難出来候共、此方ニ而八何之差構無御座候、依之海上其外諸難之受合金受取不申候、然ル上者右金三百三拾五兩、当丑十一月晦日切無相違御返済可被成、約定相違無御座候、以上

外二

金百五拾兩也 当丑正月証文ニ而貸付分

是ハ為替ニ入不申候

此利金拾六兩貳分也

但當丑正月ノ同十一月迄

ノ十一ヶ月分、月壹割也

惣ノ金五百壹兩貳分也

内金壹兩貳分 今般受取

引残而金五百兩也

右之通り為替金並ニ當正月貸附金共、書面之通り、都

合金五百兩也、御約束之通り當丑十一月晦日切、無相

違御返済可被成候、然ル上者右紅花無難ニ京着仕候

ハ、於其地少茂無相違相渡し可申候、以上

沢畑村 堀米四郎兵衛

文政十二年

丑八月廿日

佐治吉左衛門殿

同 三之助殿

覚

金五百兩之内

一、金四百九拾七兩

壹分貳朱也

福嶋方当地迄ちん

金壹兩貳分也 下しちん

金壹分貳朱也 雪中まし

ノ金壹兩三分貳朱也 相渡し

右十一月四日出し

同十一月廿九日着

右者京都伊勢屋源助殿ノ下り金子、福嶋京屋弥兵衛殿ノ

相届ク、慥ニ受取申候

御飛脚 久八殿

同 文治殿

丑十二月六日

○金四兩貳分也

山形佐治吉左衛門様方 文吉兵衛持帰ル

○印

金五百壹兩三分式朱也 請取

此表無出入相濟申候、以上

一、金九拾兩也 丑八月中紅花引質

かし付金也

一、金壹兩壹分ト 右九拾兩之利足

六匁 八月壹ヶ月分

一、七百文 花筵五拾枚

一、百文 すりなわ壹速

一、四百七拾文 たわら四十七表

一、七拾文 らうそく七丁

一、六百九拾五文 花袋 三十

一、百文 荷すミ

一、百文 谷地ニ而三之助様ニかし

一、貳百七拾三文 荷付板三十九枚

一、拾九匁五分 御出判

一、八百文 荷才料大石田行式人

一、貳百文 なわ筵ノたちん立替

一、五十文 紙代

一、金壹兩貳分也 為替書付之面端金ノ分

佐治吉左衛門様

差引之控

一、金拾五兩ト 紅花荷為替貸附金

四匁五分 三百三拾五兩ノ利足也

但し当丑九・十・十一ノ三ヶ月分、月割五分定

一、金三百六拾六兩也 丑七月中紅花引当

貸附金也

一、金拾兩三分式朱ト 右三百六拾六兩利足へ

六匁三分 当丑七・八ノ貳ヶ月分

一、金三拾四兩也 丑七月中紅花引質

かし付金也

一、金貳分ト 右三拾四兩ノ利足

六分 八月壹ヶ月分

金五百拾九兩貳朱ト

丁銀三拾六匁九分

三×五百五拾八文

此金壹兩貳朱卜

三百拾四文

合而金五百貳拾兩壹分卜

三百拾四文

兩かへ卷×五百九十文

内

金三百三拾五兩也 紅花荷為替貸附金也

金三拾兩也 丑八月十五日正金受取

金四拾兩也 紅花六拾八袋引質

貸附金也

金四拾五兩也 当八月晦日切無利足かし

×金四百五拾兩也

差引而

金七拾兩壹分卜 今般受取

三百拾四文

右之通り差引殘金七拾兩壹分三百拾四文受取申処、如此

御座候、以上

沢畑村 四郎兵衛

文政十二年丑八月廿日

山形 吉左衛門殿

天保五年午七月十八日出シ

紅花荷物送手板控

一 国判仕入 紅花拾八袋入 六丸

内二正ミ貳百五拾匁袋 壹袋入

但し壹駄片馬拾壹袋

正ミ貳百五拾匁

封印

金壹兩貳分也 添金

外二御出判 壹通

大石田 富樫 久兵衛

酒田 大沼 平八

敦賀 田保孫右衛門

塩津 中村佐右衛門

大津 若狭屋六兵衛

京都

近江屋佐助殿行

右国一印拾八袋入六丸、未五月晦日切ニ売附手紙同五月十三日出し、同六月十六日与藏方与相届ク

利

右仕切金七拾九両三分式朱也

外④金拾六両壹分式朱也 榎藤分入

合金九拾六両壹分也

此賃金壹分三朱也 福嶋方当地迄ちん

右者京都近江屋佐助殿下金、今般髓ニ請取申処実正ニ御座候、以上

四郎兵衛

天保六年未閏七月廿日着

但し同七月廿二日出し

福嶋御飛脚 嘉兵衛殿

同 徳兵衛殿

京屋弥兵衛殿

(別紙) 覚

下り金高 初七月廿二日御出
一、金九拾六両壹分也 閏七月廿日着

此賃銀貳拾六匁式分五厘

福嶋方当地迄賃銀也

掛目安

壹分二付六八式

右ノ内訳

未閏七月廿一日吉兵衛ニ持せる

金拾六両壹分式朱 藤左右門分

此切六拾五切半

此賃銀四匁四分六厘七毛

外二百文 御届賃

金七拾九兩三分式朱 四郎兵衛分

此切三百拾九切半

此質銀貳拾壹匁七分八厘九

質銀貳拾六匁貳分五厘

嶋方当地迄之質銀四匁四分六厘七毛、外二百文相渡申候、
為念受取書如此ニ御座候、以上

未閏七月廿一日 榎藤左衛門

④

堀米四郎兵衛殿

未閏七月廿一日

一、金拾六兩壹分貳式朱也 榎藤殿ニ遣し

右吉兵衛ヲ以差遣し、外ニ書状老通相添

但し福嶋方当地迄ちん割

丁銀四匁四分六厘七毛

外ニ錢百文 沢畑方御届質

○紅花荷物送手板控

一 拾七入 四丸

同 拾六入 壹丸

同 極上八袋 拾六入 壹丸

一 八丸

封印 銘々三ヶ所

一、金壹両貳式步也 大石田より添金

手板式通

大石田 富樫 久兵衛殿

酒田 大沼 平八殿

敦賀 田保孫右衛門殿

(別紙) 覚

一、金拾六兩壹分貳式朱

外ニ添書状 老通

右者京都近江屋佐助殿方之下り金、慥ニ受取申候、尤福

塩津 中村佐右衛門殿

大津 油屋 作兵衛殿

京都

伊勢屋理右衛門殿行

兵七殿

専助殿

栄助殿

同仕 拾六袋入 式丸

同仕入八袋 極上八袋 拾六袋入 壹丸

八丸

封印 銘々三ヶ所

一、金壹兩貳歩也 大石田より添金

手板式通 相添

大石田 富樫 久兵衛殿

酒田 大沼 平八殿

敦賀 田保孫右衛門殿

塩津 中村佐右衛門殿

大津 油屋 作兵衛殿

京都

伊勢屋理右衛門殿行

兵七殿

専助殿

弘化四年未七月
○紅花荷物送手板控

同国 拾七袋入 四丸

同仕 拾七袋入 式丸

栄助殿

弘化七月十七日出し

未紅花荷物送手板

京着四十疋両

引仕 拾七袋入 四丸

同仕入九袋 極上八袋 拾七袋入 壹丸

五丸 壹駄貳拾壹袋

封印 銘々三ヶ所

一、金三分 大石田より添金

御出判 壹通

同文体

最上沢畑荷主

未七月十七日 堀米四郎兵衛

大石田 富樫 久兵衛殿

酒田 大沼 平八殿

敦賀 田保孫右衛門殿

塩津 中村佐右衛門殿

大津 油屋 作兵衛殿

伊勢屋理右衛門殿

兵七殿

専助殿

栄助殿

紅花送状

引 拾七入 貳駄壹丸

増九袋

一、壹メ八百文 添銭

手通 貳通

御出判 壹通

右之通大石田江差下し申候間、着之砌御改御請取早々先
き江御送届ケ可被下候、尤駄賃之義者、右添銭之内より
御請取可被下候、為其送状依而如件

未七月

沢畑荷主 堀米四郎兵衛

御出判 壹通

野田宿

金三分也 大石田より添金

六田宿

同文体 手板式枚

楯岡宿

最上沢畑荷主

土生田宿

堀米四郎兵衛

大石田

大石田 富樫 久兵衛殿

富樫久兵衛殿行

酒田 大沼平 八殿

敦賀 田保孫右衛門殿

塩津 中村佐右衛門殿

大津 油屋 作兵衛殿

弘四年八月九日出し
未紅花荷物送手板

京都

伊勢屋源助殿行

一、雨 拾九袋入

京着三十五両かへ
壹丸

一、雨 拾六袋
上々 三袋 雨 拾九袋入 同
壹丸

一、同飛 拾九袋入 同
式丸

雨 壹駄拾貳袋

雨 紅花十九入 壹丸

封印 銘々三ヶ所

(別紙) 覚

同 雨吉十六
上々三 同合十九入 壹丸

伊勢源殿行

添金壹歩貳朱

同飛 同 十九入 貳丸

同人殿行

添金壹歩貳朱

合四箇

送板 貳通

添金 三步

御出判壹通

酒田大沼向

外ニ添状 壹通

右之通健ニ受取申候、以上

大石田 富樫久兵衛 印

未八月九日

沢畑 堀米四郎兵衛殿

(別紙)

「御才料帰リニ付一筆啓上仕候、秋冷罷成候所、御家内様益御勇健ニ被遊御座、珍重之御儀ニ奉存候、然ハ先達而御差向被成下候、紅花、積送り左ニ申上候

紅花 四丸

いせ利殿行

添金付

同仕入 極上 五丸

同人行

同断

合九箇 送り手板貳通

添金付

七月廿一日 当所 長八船

右之通積送り申候

此度四箇御差向被成下候分、早々積送り候様可仕候、直様川船所積船奉願上候、以上

富樫久兵衛 印

八月九日

堀米四郎兵衛様

日限り野村や殿分ニ、表や庄右衛門殿方江此手形引替御
渡可被下候、為念手形如件

弘化四未年

羽州最上沢畑

十月

四郎兵衛

印

封印

最上沢畑荷主堀米四郎兵衛

吉雨 大極上最上紅花正 五百目袋拾九入

京都

伊勢屋源助殿行

是八荷封板控

次印 伊勢や利右衛門殿
同印 伊勢や源助殿

右同替共笹川宇兵衛殿ニ御頼申上候ニ付、写相渡ス

未十一月廿八日

野村屋文蔵分為替取組

金百両也

伊勢利

金四拾両也

伊勢源

又

右者当地野村や文蔵殿方、姫路表屋庄右衛門殿方江古

手代金為差登候金子有之候ニ付、当地ニおゐて為替取組、

右野村や書面之金請取候間、則金(空白)来ル十月晦

支配笹川左衛門申三月二日切

悴宇八 金四十兩かへ

仕入 拾七入四丸 九袋

同 金貳拾かへ

同極上 八袋

伊勢利江売ル

又

同 金三拾九両かへ

一 国 拾七入 四丸

布彦江売ル

同 金三拾両かへ

一 雨吉 十九入 式丸

十六入

片馬三袋

同 金拾九両かへ

同上々 三袋

一 伊勢や(ママ)江売ル

申三月三日切、金式十五両かへ

一 飛切 十九入 式丸

近伊江売ル

右之通仕切持参いたし候

嘉永元七月廿二日出し

申紅花送手板

京着四拾式両

一 国 拾八袋入 式丸

一 国 拾七袋入 式丸

同断

一 卷駄六袋

封印 銘々三ヶ所

御出判 卷通

金三分也 大石田と漆金

文体

最上沢畑荷主

堀米四郎兵衛

印

大石田 富樫 久兵衛殿

酒田 大沼平 八殿

敦賀 田保孫右衛門殿

塩津 中村佐右衛門殿

大津 油屋 作兵衛殿

京都

伊勢屋源助殿行

申七月廿二日出し
紅花荷物送手板

吉 京着四拾壹兩
拾七袋入 三丸

トヒ四三拾三兩かへ、同断

吉 京着二拾九兩
拾八袋入 壹丸

紅 京着二拾九兩
貳拾袋入 壹丸

老駄貳拾五袋

封印 銘々三ヶ所

御出判 老通

金三分貳朱也 大石田より添金

文体 手板貳枚

最上沢畑荷主

堀米四郎兵衛 ㊦

大石田 富樫 久兵衛殿

酒田 大沼 平八殿

敦賀 田保孫右衛門殿

塩津 中村佐右衛門殿

大津 油屋 作兵衛殿

京都御池通東洞院西に入

美濃屋忠右衛門殿行

申七月廿二日出し

京着四拾五兩

仕 拾八袋入 貳丸

同断

仕 拾九袋入 貳丸

老駄十袋

封印 銘々三ヶ所

御出判 老通

金三分 大石田より添金

入

文体

最上沢畑荷主

堀米四郎兵衛 ㊦

大石田 富樫 久兵衛殿

酒田 大沼 平八殿

敦賀 田保孫右衛門殿

塩津 中村佐右衛門殿

大津 油屋 作兵衛殿

京都

伊勢屋利右衛門殿行

四箇

伊勢源殿行

添金三步

同吉 同 十七入 三丸

美濃忠殿行

添金式步

同吉紅 十四 合十八入 壹丸

同紅 紅花 式十入 壹丸

美濃忠殿行

添金壹步式朱

合拾三箇

送り状四通

添金式兩壹步式朱

御出判三通

酒田大沼向

右之通髓ニ受取申候、以上

富樫久兵衛 印

(別紙)

寛

利仕 紅花 十八入 式丸

同同 同 十九入 式丸

四箇

伊勢利殿行

添金三步

同国 同 十八入 式丸

同同 同 十七入 式丸

申七月廿二日

堀米四郎兵衛殿

申七月廿四日出し

紅花送手板

京着四拾貳両也

吉田

拾八入 壹丸

正ミ外百七拾八匁入相添

封印 三ヶ所

御出判 壹通

金壹分也 大石田より添金

最上沢畑荷主

堀米四郎兵衛 印

大石田 富樫 久兵衛殿

酒田 大沼 平八殿

敦賀 田保孫右衛門殿

塩津 中村佐右衛門殿

大津 油屋 作兵衛殿

京都

伊勢屋利右衛門殿

申七月廿三日出し

申八月一日出し

紅花送手板

京着四十七兩替

新田 拾八入 三丸

同

新田 拾七入 壹丸

新田 壹駄七袋

封印 銘々三ヶ所

御出判 壹通

金三分 大石田より添金

文体

最上沢畑荷主

堀米四郎兵衛 ㊦

大石田 富樫 久兵衛殿

酒田 大沼 平 八殿

敦賀 田保孫右衛門殿

塩津 中村佐右衛門殿

大津 油屋 作兵衛殿

京都

伊勢屋理右衛門殿行

申八月一日出し

紅花送手板

京着三十九兩

引仕 拾八袋入 貳丸

同

引仕 拾七袋入 壹丸

同、直三十兩

引仕 拾四 合拾七袋入 壹丸

外二仕入正味百四拾五匁入

啓駄六袋 正三百四十五匁入

封印 銘々三ヶ所

御出判 壹通

金三分 大石田方添金

文体

沢畑荷主

堀米四郎兵衛 ㊦

大石田 富樫 久兵衛殿

酒田 大沼 平 八殿

敦賀 田保孫右衛門殿

塩津 中村佐右衛門殿

大津 油屋 作兵衛殿

京都

西村屋清九郎殿行

右之紅花不残与蔵江相頼遣入、依而控相渡候

嘉永元年申九月廿三日

一、金壹兩卜

同 殘金分

銀七匁九分

老ケ月利息早引

一、銀三匁

仕入印四丸

八分貳百文

御手板不足敦賀払

一、銀六匁也

同 塩津払

一、銀六匁八分

同 大津払

一、銀貳匁

仕入印四丸

貳分貳百文

御手板不足敦賀払

一、銀六匁也

同 塩津払

一、銀六匁八分

同 大津払

一、銀三匁

飛切印四丸

四分貳百文

御手板不足敦賀払

一、銀六匁也

同 塩津払

一、銀六匁八分

同 大津払

十月三日

一、金百兩也

伊勢屋利右工門殿へ

相渡ス

一、金壹兩也

右三ヶ月分利足

一七 紅花仕切

仕切

一、金百拾貳兩

金五拾三兩替

利仕入紅花拾七入八丸

貳步貳朱也

貳駄八袋

霜月晦日限り歩引

右之内

一、金壹兩貳朱卜

御相對を以

銀七厘也

右金壹兩朱引

合

尊日要用

引残り

金八両貳歩ト

銀五匁壹分七厘也

(文政五年)
九月十七日

近江屋林兵衛

右之通御支配奥山才三郎殿へ御相談を以買請仕、則口金指引残此度御同人へ相渡し、此表無出入相濟申候、万一抜袋違算亦是算用違有之候ハ、重指引可仕候間、後日仍而仍マシ而如件

文政五年午霜月二日

伊勢屋源助

印

堀米四郎兵衛殿

一八 書簡 (為替金に付)

(封書上書)

「左畑(マシ)

堀米四郎兵衛様

於山形

尚々唯今於当地金子御渡しの上ハ、右代之金十二月卅日於京都御貫ひ申上候事なれハ、あり合二而も宜敷候、御返し方被為有度何分奉願上候

一筆啓上仕候、時分柄冷氣相増候得芳、先以其御地御尊家様、為御揃御壯健ニ可被遊候段、奉珍賀候、随而当方代店無失儀罷在候条、乍憚台御安意思召可被下置候、然者毎々不相替御用向沢山被仰付下置、千万難有御厚礼奉申上候、尚又御登用之御中へ代店後三郎度々推参仕、種々御厚情御引立被下置、是又千万難有仕合奉存候、又候此間推参仕、緩々御役帛台相成、其上御掛金被下置、難有頂戴、慥ニ入帳仕候、右御厚礼奉申上候、乍憚台皆々様方へも、宜敷御伝言奉願上候

一、此間後三郎参上之砌、上方為替金之儀被仰下、委細

承知奉畏入候、依而後三郎今日□人ニ差置候

堀米御主人様

一、京地当月卅日代店內金子入用無御座、依而其

上

節当地ニ而御渡し申上候而、右代金於京都十一月

返々も身分相応之御用向、何成共被仰付度奉願上

卅日か十二月卅日御貰らひ申上度候、左候得共当

候、以上

月半月十二月迄日合頂戴仕度候、夫も御尊家様ニ

而、右金子御返し方も被為有候ハ、右之段御願

申上度候

夫共此節御返し方被為有、十一月卅日京地ニ而御

貰ひ申上候而、右代金於当地右為替受取案内申上

追啓奉申上候、此間後三郎戻候砌ハ、御丁寧奉存候、御
算着被成下、難有拜見御細文之趣奉恐入候、右之御礼奉
申上候

候、次方十二月廿三四日頃、於宿元御渡し被申度

候、尤も金高之儀ハ何れ而も宜儀候

委細之儀者後三郎申送候而、宜敷御聞取替為御取組被成

下度奉願上候、尤も代店喜平・後三郎兩人、明十八日出

立仕候、上方筋御用向も被為有候ハ、何成共無御遠慮

被仰付可被下候、先者右之段、為御報旁々為替用向御願

奉申上儀迄、如此御座候、恐々謹言

九月十七日

近江屋林兵衛

喜兵衛

一、先達而中ハたま〜当地へ御尊来、一寸御立寄被成
下候得共、弥々以何之御構も申上不奉而、甚夕以御龜末
之至、尚又先日御内方様上山御入湯御出之節とても、右
同様御龜末今更後悔仕候、その上者御戻り候も、是非〜
御立寄被成下候事ト折角御待申受候処、山道通り候而直
様御帰毛御様子弥々以、たま〜御事に御尊来被成下候、
甚夕以御龜末之至、残念至極に奉存候、何卒此後ゆる〜
御遊旁々御尊来之程奉待上候、先者右之□旁々御申訳迄
早々如此御座候、已上

九月十七日

近江屋林兵衛

堀御旦那様上

喜兵衛

文政五年十二月

堀米四郎兵衛様

同 才三郎様

一九 覚 (請取証)

覚

十一月二日

一、金拾九兩三步式朱卜

嶋屋清兵殿方

九分四厘

請取

内金拾兩也

板垣忠兵衛殿相渡

差引殘金九兩三步式朱卜

九分四厘預り

右之通御座候、差引殘金之義来未正月迄預り置申候処夷

正也、尤来春古手代ニ相渡申上迄、七朱利足相加へ差引

可仕候、為其書附仍而如件

近江屋安次郎

印

二〇 覚 (手拭積下し)

覚

一、絞手拭取合

巻箇

直段五式方六〇迄ニ而

但し内雲州白木綿也

巻拾反

直段五六位

右之通来未正月巻番船積入差下し可申候、仕金之儀ハ、

此亦御手合紅花仕切金ニ而差引可仕候、尤過不足之処甚

三郎可申上候、已上

近江屋安次郎

印

(文政五年九)

午十月廿三日

堀米才三郎様

二三 紅花仕切

仕切

金四拾八兩壹歩ト

五匁六分貳厘

内金壹歩貳朱ト

六匁四分五厘

金壹歩貳朱ト

六匁貳分貳厘

金四拾兩也

金壹歩貳朱ト

壹匁五分

金壹歩ト

金四拾壹兩壹歩貳朱ト

手板不足

十五匁四分貳厘

二一 覚 (天草積下し)

覚

一、天草

五箇

右之通来正月壹番船積入差出し可申候、尤仕切金之儀紅

花代預り金ニ而差引可仕候、已上

近江屋安次郎

印

(文政五年九)

午十月廿三日

堀米才三郎様

四拾五匁貳歩がへ
[利極]天印 十七入四丸

部引
壹駄四袋

部引

壹ヶ月利足

伊勢屋理右工門殿

相渡ス

壹ヶ月利足

手板不足

此金卷歩下四分式厘

さし引金六兩式歩式朱卜

五匁式分

右之通相對を以買受代金不殘相渡し、此表無出入相濟申候、万一箇荷之内、拔袋違花又者算用違有之候ハ、重而御差引可仕候、為後日依而如件

文政五年歲十月卅日

近江屋佐助 印

堀米四郎兵衛殿

御支配才三郎殿

十一月限歩引

三拾卷袋下

式百六拾匁袋 一

内金式朱卜四匁八分八厘

卷歩引

正味金式拾兩卷歩式朱卜

六匁式分二厘也

内金式朱卜

添金不足

壹匁卷分五厘

固俣代大阪迄太質

右之通以相對買請申候処美正也、尤仕切金之儀者、才三郎様御差函之通請払可仕候上ハ、万一違花目欠等御座候節ハ、重而御差引可被成下候、為後日仕切一札仍而如件

文政五年十月
(五年)

近江屋安次郎 印

二二二 紅花仕切

紅花仕切書

堀米四郎兵衛様

同 才三郎様

金四拾式兩替

一匁紅 十六入式丸

一、金式拾兩式歩式朱卜
三匁六分也

内式百六十匁入 壹

二三一二 紅花仕切写

仕切書之写

〔和〕 笹 紅 十六入式丸

内式百六拾匁入 壹

〆三十一袋卜式百六十匁 一

十一月晦日限歩引

金四拾貳兩替

代金貳拾兩貳歩貳朱卜三匁六分

内金貳朱卜四匁八分八厘 壹部引

正味金廿兩壹歩貳朱卜

六匁貳分貳厘

内

一、金貳朱卜壹匁壹分五厘 添金不足取替

さし引残金貳拾兩壹歩卜五匁〇七厘 (ママ)

右之通貫請申候、御引合可被成下候、已上

近江屋安次郎

(文政五年)
十一月廿二日

堀米四郎兵衛様

差 引 覚

十一月二日
一、金拾九兩三步貳朱卜

嶋清殿方受取

九分四厘

内金拾兩

板垣忠左エ門殿相渡

引〆金九兩三步貳朱卜

過上

九分四厘

一、金貳拾兩壹歩卜

〔和〕 笹紅仕切金

五匁〇七厘

右ハ木綿代金外ニ古手屋渡シ金ニ相成申候

十一月廿二日

近江屋安次郎

堀米四郎兵衛殿

内

一、金三兩三歩と

七分五厘

部引

引而金三百七拾貳兩貳歩と

銀四匁四分

二四 紅花仕切

仕切

右之通御相對を以買請、紅花代金別紙差引不殘相加へ、此表無出入相濟申候、万一算用違又者拔袋等有之候ハ、重而御互ニ御差引可被成候、為後日之仍而如件

文政五壬午十月晦日

伊勢屋利右工門

印

一、金百四拾六兩三歩と

五匁分五厘

十一月晦日限
金五拾貳兩貳分替
和雨トヒ印拾八入五丸

同国一印 拾八入四丸

拾七入壹丸

堀米四郎兵衛殿

奥山 才三郎殿

一、金貳百貳拾九兩

貳歩也

同、金四拾八兩替
同極上印 拾七入拾八丸

二五 紅花仕切

仕切

銀三百七拾六兩壹歩と

銀五匁分五厘

十一月晦日限

一、金百八兩

金四拾八兩かへ

〔利飛切印

式駄拾六

右之内

一、金老兩

御相對を以

四匁八分

老部通割引

一、金老兩

右殘金

四匁老步

老ヶ月分利足

一、銀拾六匁

右之荷物四丸

五分

駄運賃夫々へ払

十一月二日

一、金百兩

鳴屋飛脚ヲ以
差下し

一、銀拾九匁

右金子福嶋迄

下し太ちん

一、金百貳兩

一、銀四拾四匁四分貳厘

此金貳步貳朱

六匁九分貳厘

合金百貳兩貳步貳朱

銀六匁九分貳厘

差引金五兩老步

銀五分八厘

才三郎様へ相渡し

右之通ニ御座候、以上

若喜

二六 操綿仕切

操綿仕切覚

但し拾老メ八百匁入

京口^{丹州}

〔利印 大黒造拾五本
本上札入

値段五貫五百匁替

此綿百七拾七貫匁

代銀三貫貳百拾八匁老分八厘

一、百三拾貳匁五分 荷物入用

一、拾六匁五分 大坂迄出し

銀三貫三百六拾七匁分八厘

(文政五年)
午十一月五日

紺屋喜三郎 (印)

奥山屋才三郎様

(印文、城州八幡、操綿仕切
紺喜)

十月二日 吉田
一、金四拾兩也 勘右衛門殿と

三日 伊勢屋
一、金百兩也 源助殿と

四日 近江屋
一、金四拾兩也 佐助殿と

同日 渡会屋
一、金三拾兩也 惣治郎殿と受取

五日 村山屋
一、金五拾兩也 半四郎殿と

此り金五兩貳朱と 十、十一、貳ケ月り足戻し
銀八匁九分 四匁五分

二七 金銀差引覚 (横帳)

(端裏書)

御印金銀差引覚 (伊勢屋理右衛門 伊理)

金銀差引覚

一、金三百七拾貳兩貳步 十一月限 別紙仕切と高

銀四匁四分

銀八匁九分 此り金六百三拾七兩貳步貳朱と

右之内

十月五日 一、歩金四百兩也

此り金八兩也 十月、十一月 貳ケ月り足

一、金三拾兩貳朱と 拾六匁七分 半月り足手板不足 渡宗殿へ相渡

此り金巻歩式朱と

十月半^ら十一月
イ巻ケ月半り

四匁六分一厘

一、銀百匁也

十月五日
金四百兩
福しま迄下し實
百匁
□拾五匁
イ百五匁替

一、銀拾五匁

六分八厘

イ^イ国一印手板不足
七匁一分八厘塩津
八匁五分 大ツ

一、銀拾四匁

八分七厘

同ト七印五丸
六匁三分七厘
八匁五分

一、銀三拾匁

壹分六厘

同極上印八丸
四匁五分六厘ツルカ
拾貳匁 塩津
拾三匁六分 大ツ

一、金五拾兩也

此度

イ金四百八拾八兩式歩

奥山才三郎殿へ相渡
但し十一月晦日限
大坂近江屋安治郎殿渡
し、請合手形にて渡ス

銀百八拾貳匁式厘

此金三兩と式匁九厘

差引殘金百四拾六匁式朱と

六匁八分八厘

右之通所々出入惣差引殘金書面之通髓ニ御預申上候処実
正也、当月晦日渡り金子一集ニ致し、嶋屋飛脚ヲ以不殘
御国元へ差下し可申上候、然ル上者此表無出入相濟申候、
万一算用違^{ツマ}拔等有之候ハ、重而御互ニ御差引可申候、
為後日之依而如件

文政五年
壬

十一月五日

伊勢屋理右衛門 ㊦

(印文、庚寅七月改△一伊理)

堀米四郎兵衛殿

御在京御支配

奥山才三郎 殿